

令和5年度国際化推進事業報告書 第23回高校生海外研修（タイ王国派遣）



派遣期間：令和5年7月22日(土)～29日(土)

協力：Thai-Nichi Institute of Technology

(วิทยาลัยนานาชาติ สถาบันเทคโนโลยี ไทย-ญี่ปุ่น)

Ministry of Industry (Thailand)

(กระทรวงอุตสาหกรรม)

公益社団法人全国工業高等学校長協会

国際化事業推進委員会

目 次

I	はじめに	居石委員長 1
II	第 23 回高校生海外研修実施要項	事務局 2
III	海外研修日程表	事務局 4
IV	海外研修 結団式・事前研修	事務局 5
V	海外研修の概要	団長・引率者 . . . 7
VI	参加生徒の報告	参加生徒 16
VII	アンケート結果	事務局 53
VIII	結びに	事務局 62



ワットアルンにて

I はじめに

国際化事業推進委員会委員長
第 23 回海外研修団長 居石博幸
(神奈川県立向の岡工業高等学校長)

公益社団法人全国工業高等学校協会主催の「第 23 回高校生海外研修」が、7 月 22 日(土)～7 月 29 日(土)の 8 日間の日程で実施されました。

この高校生海外研修は、「工業高校において国際感覚を身につける教育が求められる今日の社会状況に鑑み、工業教育の活性化を図り、かつ将来国際社会で活躍する人材を育成すること」を目的に行われています。この研修の歴史を振り返りますと、平成 8 年の文部科学省の支援によるアメリカ・ニューヨークに生徒・教員を派遣したことを起点に、以下の通り実施してまいりました。

- 1 第 1 回から第 10 回まで オーストラリア 平成 13 年度から平成 22 年度まで
- 2 第 11 回から第 15 回まで アメリカ・カナダ 平成 23 年度から平成 27 年度まで
- 3 第 16 回から第 19 回まで ベトナム 平成 28 年度から令和元年度まで

そして、令和 2～4 年度までの第 20 回から第 22 回までは、東京オリンピック開催やコロナ感染症防止対策等の影響で中止となっており、今回の高校生海外研修は、令和元年度以来 4 年ぶりの実施となりました。

研修先については、令和 2 年度国際事業推進事業検討委員会で、これまでのベトナム社会主義共和国から新しい研修先に変更しようと検討がスタートし、日本との関係や費用面、安全面などを総合的に検討した結果、タイ王国に決定しました。また、研修内容も、これまでの研修の成果や課題を踏まえ研修全般における内容を再検討しました。参加生徒にとってグローバル社会を生きるための国際感覚を身につける必要性や積極的に参加できるよう体験型の経験を重視して、現地の大学生との交流、現地学校の授業および施設見学、日系企業見学、現地企業見学、文化遺産・史跡の観光を中心に魅力的な研修となるよう計画がまとまりました。

しかし実際には、令和 4 年度までは、計画案の作成と募集までの準備が進みましたが東京オリンピック開催やコロナ感染症防止対策等の影響により募集をするまで至らずに中止を繰り返してきました。それ故に今回の高校生海外研修の実施は、運営に携わった者として非常に感慨深いものがありました。

研修先のタイ王国は、日本企業が数多く進出おり、歴史的にも日本とのつながりは古く、親日的な国で治安も安定しています。近年は日本をはじめとする多くの諸外国との連携を積み重ね、目覚ましい経済発展を遂げている国で、活気あふれるタイ王国の雰囲気を感じられたと思います。また、タイにはスコータイ、アユタヤ、バンチェン遺跡の 3 つの世界遺産と、トゥンヤイ・ファイカケン野生生物保護区群、ドンパヤ・イエン・カオヤイ森林地帯、ケーンクラチャイ国立公園の 3 つの自然遺産があります。これらの歴史ある世界遺産について知ることで、タイの魅力を存分に味わったことと思います。

本報告書は、研修に参加した生徒たちが現地で経験し、多くを学び、感じ取ったことを素直な気持ちで表現してくれています。この報告書を目にされたすべての方々に、この研修に参加した生徒たちがこの研修で得た何かを感じ取っていただければ幸いです。

最後に、本研修を実施するにあたり、ご尽力いただきました関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。国際化事業推進委員会は、今後も「高校生海外研修」をはじめ、国際化事業の推進に努めてまいります。

II 第 23 回高校生海外研修実施要項

令和 5 年 4 月 1 日

- 1 目 的 国際化時代を迎え、工業高校においては国際感覚を身に付ける教育が求められている。
このような社会状況に鑑み、本協会では工業教育の活性化を図る事業の一環として
海外研修を実施する。
- 2 期 日 令和 5 年 7 月 2 2 日（土）～7 月 2 9 日（土）の 8 日間
- 3 研 修 地 タイ王国
- 4 研修内容 現地学生との交流、学校見学、企業見学、文化遺産・史跡の観光等
- 5 宿 泊 ホテル（Center Point Silom Hotel）
- 6 経 費
 - （1）自己負担
 - ① 参加費 5 万円
 - ② 自宅と羽田空港間の交通費、パスポート申請料、燃油サーチャージ、空港使用料、
空港税、任意の海外保険等は自己負担とする。
 - （2）補 助
 - ① 国際線の航空運賃及び現地の交通費、宿泊費、食費等は、全工協会が補助する。
 - ② 遠方からの参加者には羽田空港までの往路に関わる交通費の一部を全工協会が補助
する。
- 7 参加条件：次の（1）～（3）をすべて満たす生徒
 - （1）全工協会の会員校に所属し、学業・人物ともに優秀で、所属校長と地区代表校長の推薦する生
徒
 - （2）他の海外研修等に参加した経験のない生徒（修学旅行を除く）
 - （3）国際的な感覚を身に付け、今後の学校生活に意欲をもって取り組める生徒
- 8 参加人員 25 名（生徒 22 名、引率 3 名）

<9 地区ブロックの生徒推薦枠>

北海道 1、東北 3、関東 4、北信越 2、東海 3、近畿 3、中国 2、四国 1、九州 3

引率は全工協会から委嘱する。

9 推薦手順

参加希望者は様式 1「第 23 回高校生海外研修・参加申込書」及び様式 2「第 23 回高校生海
外研修・参加理由書」（A4 用紙 800 字程度）を所属校長へ提出する。

所属校長は地区代表校長の推薦を得て書類を全工協会へ提出する。

※様式 1 及び様式 2 は本協会ホームページからダウンロードする。

10 応募締切 **令和 5 年 5 月 19 日（金）厳守（消印有効）**

※ なお、新型コロナ感染状況等により、計画が変更、中止になる場合もあります。

<応募書類提出先・問い合わせ先>

公益社団法人全国工業高等学校長協会 事務局次長 湯澤 修一

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 2-8-1

TEL 03-3261-1500 yuzawa@zenkoukyo.or.jp

令和5年4月1日

第23回高校生海外研修における教員参加の実施要項

生徒海外研修実施要項の項目「1～6、10」を準用し、「7～9」は、次のとおりとする。

7 応募条件 会員校の教員（校長の推薦する者）

8 募集人員 若干名

教員枠は、参加生徒数が定員に満たない場合に、定員（22名）から生徒数を引いた数とする。ただし、生徒の定員が満たされた場合は、教員枠は「0」とする。

9 応募手順

（1）参加希望者は、様式1「第23回高校生海外研修・参加申込書」及び様式2「第23回高校生海外研修・参加理由書」を作成し、所属校長を通して全工協会へ提出する。

（2）書類作成

様式1及び様式2は、本協会ホームページよりダウンロードする。

保護者氏名・学年等の不必要な箇所は空欄とし、「生徒氏名」は「教員氏名」とする。

（3）決定通知

校長から推薦された候補者を国際化事業推進委員会で選考して、所属校長へ通知する。

※その他

（1）現地では引率者の指示に従い、生徒と同じ日程で行動する。

（2）帰国後、各自報告書(全工協会指定の形式)を提出する。

<応募書類提出先・問い合わせ先>

公益社団法人全国工業高等学校長協会 事務局次長 湯澤 修一

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 2-8-1

TEL 03-3261-1500 yuzawa@zenkoukyo.or.jp

Ⅲ 海外研修日程表

	月日	曜日	発着地・滞在地	現地時間	交通機関	行動予定・宿泊	食事
1	7/22	土	結団式会場着 工業教育会館	午後	各自 専用車	前日集合 健康観察・結団式・事前研修 専用バスで ＜羽田空港のホテル泊＞	夕食
2	7/23	日	羽田ホテル発 羽田空港発 バンコク着	08：00 11：15 15：40	専用車 JL-031 専用車	羽田空港国際ターミナルへ 出国手続き、バンコクへ 入国手続き 専用車にて夕食会場へ ＜ホテル泊＞	朝食 機内 夕食
3	7/24	月	バンコク ホテル着	終日	専用車	バンコク市内観光 ワットプラケオ、水上遊覧、 ワットポー、ワットアルン、 エメラルド寺院 他 ＜ホテル泊＞	朝食 昼食 夕食
4	7/25	火	バンコク ホテル着	午前 午後	専用車	泰日工業大学訪問 授業参加 実習施設等見学 タイ学生との文化交流 ＜ホテル泊＞	朝食 昼食 夕食
5	7/26	水	バンコク ホテル着	午前 午後	専用車	日系企業トヨタバンポー工場見学 チャチュンサオ観光 ワットゾーン、100年市場、 ピンクガネーシャ 他 ＜ホテル泊＞	朝食 昼食 夕食
6	7/27	木	バンコク ホテル着	午前 午後	専用車	日系企業 DENSO LASI TC 見学 アユタヤ観光 日本人町跡、 ワットプラシーサンペット、 ワットマハタート 他 ＜ホテル泊＞	朝食 昼食 夕食
7	7/28	金	バンコク バンコク発	午前 午後 21：55	専用車 JL-034	バンコク郊外観光 水上市場、 メークローン線路市場 バンコク市内観光 ワットパクナ ムバイヨークスカイビル 出国手続き、羽田空港へ ＜機中泊＞	朝食 昼食 夕食
8	7/29	土	羽田空港着	06：10 07：00 08：00		帰国 入国手続き 事務連絡、解散	機内

※時間や内容は、現地の状況等によって変更する場合があります。

IV 海外研修 結団式・事前研修

日 時：令和5年7月22日（土） 14：00～16：00

会 場：全国工業高等学校長協会 工業教育会館2階ホール

結団式司会 渡 邊 隆（全国工業高等学校長協会事務局長）

<結団式>

- 1 開式の言葉 三 輪 政 道（千葉県立清水高等学校長）
- 2 挨拶
(1) 主催者 福 田 健 昌（全国工業高等学校長協会理事長）
(2) 団 長 居 石 博 幸（神奈川県立向の岡工業高等学校長）
- 3 引率者紹介
(1) 団 長 居 石 博 幸（神奈川県立向の岡工業高等学校長）
(2) 引 率 小 原 豪（東京都立多摩工科高等学校教諭）
水 野 寧 々（神奈川県立平塚工科高等学校教諭）
(3) 添乗員 林 亜紀子（T-LIFE パートナース(株)東京支社
グローバルソリューションズ事業部課長代理）
- 4 出席者紹介
- 5 参加生徒自己紹介
- 6 生徒宣誓 代 表 生 徒（滋賀県立安曇川高等学校 総合学科 3年）
- 7 閉式の言葉 久 保 剛（東京都立科学技術高等学校長）
- 8 写真撮影

事前研修司会 湯 澤 修 一（全国工業高等学校長協会事務局次長）

<事前研修>

- 1 日程及びタイ王国の状況説明（全般的な諸注意）
旅行者（T-LIFE パートナース(株)東京支社）
- 2 説 明
(1) 海外研修報告書の提出について（別紙） 湯澤次長
(2) 海外研修日誌（ノートの記入方法と毎日の提出） 湯澤次長
(3) 海外研修アンケート（別紙・ダウンロード可能） 湯澤次長
- 3 その他
(1) 班長の選出
(2) 現地学生との交流
① 泰日工業大学で交流について考えてみよう！
② 歌やダンスの披露準備（夕食後に生徒間で企画：例：世界に1つだけの花）
（泰日工業大学では、現地の大学生から披露があると思われます）
③ 学生との交流プログラム時にお土産を渡そう！

<出席者>

- 1 参加生徒（下表参照）及び保護者
- 2 理事長 福田 健 昌（東京都立六郷工科高等学校長）
- 3 国際化事業推進委員
 - 委員長 居 石 博 幸（神奈川県立向の岡工業高等学校長）
 - 山 崎 正 義（埼玉県立大宮工業高等学校長）
 - 三 輪 政 道（千葉県立清水高等学校長）
 - 森 田 常 次（東京都立多摩科学技術高等学校長）
 - 久 保 剛（東京都立科学技術高等学校長）
- 4 旅行会社 林 亜紀子（T-LIFE パートナーズ(株)東京支社
グローバルソリューションズ事業部 課長代理）
- 5 事務局 渡 邊 隆（全国工業高等学校長協会事務局長）
湯 澤 修 一（全国工業高等学校長協会事務局次長）
江 口 敏 彦（全国工業高等学校長協会事務局次長）
- 6 参加生徒 21名、教員 0名、合計 21名

地区名	学 校 名	地区名	学 校 名
東 北	青森県立 八戸工業高等学校	東 海	三重県立 四日市工業高等学校
東 北	学校法人東北工業大学 仙台城南高等学校	近 畿	滋賀県立 安曇川高等学校
東 北	秋田県立 大曲工業高等学校	近 畿	大阪府立 工芸高等学校
関 東	茨城県立 つくば工科高等学校	近 畿	兵庫県立 姫路工業高等学校
関 東	栃木県立 宇都宮工業高等学校	中 国	鳥取県立 米子工業高等学校
関 東	群馬県立 太田工業高等学校	中 国	広島県立 広島工業高等学校
関 東	埼玉県立 大宮工業高等学校	四 国	香川県立 高松工芸高等学校
北信越	福井県立 科学技術高等学校	九 州	福岡県立 小倉工業高等学校
北信越	福井県立 坂井高等学校	九 州	長崎県立 大村工業高等学校
東 海	静岡県立 科学技術高等学校	九 州	熊本県立 玉名工業高等学校
東 海	愛知産業大学 工業高等学校		

V 海外研修の概要

第23回高校生海外研修 実施報告概要 (タイ王国研修)

第23回海外研修団長 居石 博幸
(神奈川県立向の岡工業高等学校長)

1 はじめに

今年で23回目を迎える高校生海外研修は、研修先を前回までのベトナム社会主義共和国からタイ王国へ変え新たなスタートを切ることとなった。

前回の海外研修の実施年度は令和元年度であり、4年ぶりの開催となったことは、世界を震撼させた新型コロナウイルス感染症の影響によるものである。この4年間、毎年度、「いつ再開できるか！再開したら新しい企画でより生徒に魅力的な海外研修にしよう！」等、様々な検討と準備を重ねてきた。それ故に今回の海外研修実施は、運営に携わった者として非常に感慨深いものがある。

タイ王国は、長い歴史の中で他国の植民地となったことなく独立を守り通し、独自の文化を育んできた。また、アジアの歴史を感じさせる遺跡をはじめ、生活文化体験や平和学習などに最適な研修場所であるとともに、半世紀以上も日系企業が根付いているなど日本との経済連携を深めている親日国家である。

研修の参加者は、男子生徒12名、女子生徒9名、引率者3名、添乗員1名の合計25名である。

研修プログラムは、異文化理解のための寺院や遺跡巡りと日系企業視察、現地大学交流等、タイ王国を多角的に学習できる内容となっている。

2 第23回高校生海外研修実施要項

(1) 研修期間

令和5年7月22日(土)～7月29日(土)

(2) 研修地

○バンコク市内

王宮、水上遊覧、ワットポー、ワットアルン、エメラルド寺院、泰日工業大学(授業見学・交流プログラム)、日系企業トヨタバンポー工場見学、日系企業DENSO LASITC見学、ワットパクナム、バイヨークスカイビル

○バンコク郊外

ダムヌンサドゥアク水上市場

○チャチュンサオ市内

ワットゾーン、ワットサマーンナッタナラーム(ピングガネーシャ像)、100年市場

○アユタヤ市内

日本人町跡、ワットプラシーサンペット、ワットマハタート他

(3) 宿泊地

バンコク市内のホテル(5泊)、機内(1泊)

(4) 参加費

5万円、パスポート申請料、燃油サーチャージ、空港使用料、空港税、海外保険等は個人負担(但し、航空運賃、宿泊費、食事等の経費は全工協会が負担)

(5) 補助金

自宅から羽田空港までの交通費の一部を全工協会が補助する。

3 研修参加者の構成

参加生徒は21名、3年(男子6名、女子5名)、2年(男子6名、女子4名)。引率教員は、国際化事業推進委員長 居石博幸(神奈川県立向の岡工業高等学校長)、小原豪(東京都立多摩工科高等学校教諭)、水野寧々(神奈川県立平塚工科高等学校教諭)の3名が同行した。

4 活動内容

【1日目】7月22日(土) 結団式

結団式は、全国工業高等学校長協会の工業教育会館2Fホールにて14:00から全工協会理事長、国際化事業推進委員、事務局、保護者等の参加のもと開催された。全工協会理事長挨拶に始まり、研修参加生徒自己紹介、生徒代表宣誓、記念撮影を行った。終了後、事前研修に入り、全日程の確認、諸注意、班編

成の確認等を進めた。その後、貸切バスにて羽田空港最寄りの前泊するホテルへ移動した。

結団式当初は緊張していた生徒たちも、車中のコミュニケーションにより徐々に打ち解け連帯意識が醸成された。

【2日目】7月23日(日)

朝食を済ませ8時に空港へ出発した。ほぼ定刻で離陸し夕刻(遅れ時差2時間)無事バンコクの空港に到着した。空港では気さくな現地ガイドさんと合流し専用バスにて研修期間5泊するセンターポイントシーロムホテルへ向かった。



バンコク到着 いよいよ研修本番スタート

【3日目】7月24日(月)

初日は、生徒の健康面に配慮し、気候に慣れてもらいかつ生徒同士の連帯感や親睦間を深めるため終日バンコク市内の寺院巡りを実施した。水上遊覧で移動しながらワットアルン、王宮、ワットポー、エメラルド寺院を見学した。前回研修の教訓を生かし本研修から



ワットアルン(暁の寺)

現地ガイドの説明を確実に聞けるよう全生徒が通信インカムを身に付けているため、建築物の歴史や文化がよく伝わり、生徒も内容をしっかり理解することができていた。

また、生徒は行く場所行く場所にある王様の写真を見ることになり、国王を崇拝する異文化理解が深まっていた。



随所にみられる王様夫妻の写真塔

【4日目】7月25日(火)

終日、泰日工業大学(以下 TNI)を訪問して交流プログラムを実施した。TNI はタイ王国と日本の友好とタイ産業界の人材育成を目的として、上位母体である1973年創立の泰日経済技術振興会(以下 TPA)が創立30周年記念事業として2007年6月に開校した「日本型ものづくり大学」の学校である。学部構成は、工学部、情報学部、経営学部と日本の工業大学と類似しているカリキュラムとなっている。TPA が泰日友好の流れを組んでいるため、日本語が必修科目であり女子学生も流暢な日本語で対応してくれた。生徒は施設見学と TNI の学生との文化交流(けん玉、バルーンア



ート、折り紙、ダンス、歌唱等)を実施した。

折り紙を教えあう TNI 学生と生徒達



交流した TNI 学生と生徒達



泰日工業大学正門付近

【5日目】7月26日(水)

日系企業トヨタバンポー工場とチャチュンサオ市内見学を実施した。自動車シェアナンバー1のトヨタ自動車の人気車種、ハイラックスとフォーチュナーの生産ラインの見学を行った。対応した女性社員は全て英語での説明だったので生徒は理解するのに必死だったようであるが、有名なトヨタかんぱん方式の部品の流れから完成車の検査迄、自動車生産の流れを一貫して見学できたことはとても良い経験となった。



トヨタバンポー工場にて

午後はチャチュンサオ市内へ移動し、1764年アユタヤ王朝末期に建立されたソートーン寺院、巨大なピングガネーシャ像で有名なワットサマーラッタナーラーム、100年市場を訪れた。

初日から見学した寺院は全ての人々を祈願により救済する崇高な使命の場所であり、願い事の方法も様々である。例えばピングガネーシャ像はその像の前で手を合わせるのではなく、その周りに立っている14匹のムシカというねずみの片耳を塞いで願い事を囁くとす

ぐ願いが叶うという。生徒達も見学した様々な寺院での祈願方法の違いには驚かされているようだった。



ピングガネーシャ像

【6日目】7月27日(木)

日系企業 DENSŌ LASI Training Center(以下 TC)見学後、アユタヤ市内へ移動しアユタヤ王朝の遺跡群の見学を実施した。DENSŌはトヨタ自動車の系列子会社だが、TCはタイ産業界の自動化人材育成のための施設であり、前日のトヨタ工場のように製品を製造している場所ではない。

そのため、最初生徒たちは何をやる会社なのかわからなかったようである。幸い担当社員が日本から出向している日本人若手技術者でLASI(Lean Automation System Integrator)の理論を実際の研修機器を使用することにより丁寧に教えていただいた。簡単に言えば、いかに生産性を上げて無駄のない自動化生産システムを構築するかを学習する場である。生徒達も少し戸惑いながらも研修機器を使いながら自動化や効率化の考え方の入口を体験することができた。



Lean Automationの説明

午後は、ユネスコの世界遺産にも指定された古都アユタヤを訪れ、タイ王国の歴史について深く学んだ。



アユタヤ遺跡

【7日目】 7月28日(金)

【8日目】 7月29日(土)

帰国の途に就く事実上の研修最終日は、タイ王国の人々の生活文化の体験学習を実施した。

専用バスでダムヌンサドゥアク水上市場を訪れ、小舟に4～5名程度分乗し、水上市場で現地の店主とお土産の値段を交渉して購入するという日本では考えられないショッピングを経験した。そこにある商品に定価はなくひたすら交渉して値切るといふ勇気としたたかさが問われる交渉術は、ある意味形の異なるアントレプレナーシップ教育となったのではないかと感じた。



水上市場



店主と価格交渉をする生徒

水上市場を後にし、再びバンコク市内に戻り、セントラルワールド周辺にてショッピング後、バンコク市内を一望で見渡せるバイヨークスカイビルで夕食をとりながら研修地の別れを惜しんだ。その後、空港へ移動後、夜間フライトで日本への帰路に就き、7月29日(土)の6:00に羽田に到着した。最後に、空港ロビーにてささやかな解散式を行い実りある研修を終了した。

5 おわりに

今回実施した第23回高校生海外研修は、全国から選考で選ばれた21名の生徒が研修の目的を個々に理解し、自覚と責任をもって参加した結果、大きな事故、けが、トラブルもなく全日程を終えることができた。引率団長の立場としては、4年ぶりかつ新しい研修地ということもあって安全安心に研修を実施する重責を担っていた。終わってみれば、終日天候に恵まれ、なにより生徒は健康で元気に楽しみながら研修に参加している姿を見ることができ、生徒の成長を大きく実感できる研修となった。

また、研修が観光で終わらないように様々な場面で研修ノートや健康管理等を的確に指導支援してくれた引率教員、分かりやすい説明に努めた現地ガイド、総合管理に従事してくれた添乗員の下支えにもこの場を借りて深謝したい。

長い歴史を持つタイ国、バンコク市内の通勤時間は左側通行交通のため右ハンドル日本

車で溢れかつ絶えることのない圧倒的なバイクの往来等、活気に満ちた親日国家であった。



バンコク市内の交通風景

本事業が将来、日本と諸外国でグローバルに活躍する産業界の人材を育成、輩出する一助となることを祈念し報告を終了する。

《Memorial photo》



選手宣誓



事前研修



結団式 理事長挨拶



結団式参加者記念撮影



結団式 団長挨拶



バスでホテルへ移動

「安全第一」 高校生海外研修タイ王国 8 日間

東京都立多摩工科高等学校
教諭 小原 豪
神奈川県立平塚工科高等学校
教諭 水野寧々

1 はじめに

新型コロナウイルスによる感染は続いているものの、多くの国で水際対策の緩和が進められ、海外との往来が活発になってきた。

本研修も令和元年度の「ベトナム社会主義共和国」の実施以来延期となっていたが、4年ぶりに開催することとなった。

そして、第 23 回高校生海外研修に引率者として地区代表の工業高校生とともに「タイ王国」を訪れることとなった。

以下に、8 日間の研修記録を記す。

2 研修記録

第 1 日目：結団式

結団式は、工業教育会館で行われた。額の汗を拭いながらスーツケースを転がし、工業教育会館に到着。入口付近で 2 組の参加者と出会った。互いに「研修に参加の方ですか?」、「どこから来られたのですか?」と初対面ながらも気さくに会話をする姿を見て、これからの 8 日間楽しく過ごせる予感がした。

結団式では、理事長が挨拶の中で語っていた「安全第一」が印象的で引率をする上での自身のスローガンとした。

参加生徒の自己紹介や代表による宣誓もすばらしく、地区代表としての風格を表していた。

この日は、羽田空港近くのホテルで前泊するため専用バスに乗り込み、多くの人に見送られながら工業教育会館を後にした。

ホテルに到着、すぐにミーティングを行った。研修内容に「泰日工業大学」での学生間交流が予定されており、そこで披露する出し物の打合せをした。学生には事前に伝えられ

ていたため、けん玉などの小道具を持参する者や多くのアイデアが提案され、出し物の大筋はすぐに決まったようである。その後、夕食の弁当を食べ、明日のフライトに向け眠りについて。

第 2 日目：日本からタイ王国へ 雨

日本時間 8:25 羽田空港に到着。まずは搭乗手続きを自動チェックイン機で行った。その後、預け荷物の手続きを終え、保安検査・出国審査へと進んだ。保安検査において大量のペン類が筆箱に入っていたのを指摘された以外はスムーズに通過できた。

多くの参加者が国際線利用初めてとのことで、搭乗口にたどり着くまでの工程や目にする景色に興味津々の様子だった。そして、11:50 出発。機内では、離陸の際に歓声があがったがその後は機内サービスを利用するなど、個々の時間をリラックスして過ごしているようであった。

現地時間 15:50 バンコクスワンナプール国際空港に到着。(日本とバンコクの時差は 2 時間。日本が 2 時間進んでいる。) 入国審査や荷物の受け取り等を済ませた。

空港出口では、現地ガイドの「エカパックさん」がお出迎えしてくれた。外は雨が降っていてかなり蒸し暑かった。空港から専用バスに乗り、まずはホテルへと向かった。

18:00 「センターポイントシーロムホテル」到着。バンコクの中心部へのアクセスも良く、徒歩圏内に高架鉄道 (BTS) の駅もあり観光拠点とするには好立地のホテルである。さらに、デパートが隣接しておりホテルから専用の出入り口でアクセスができる。我々も、外貨両替所や地下食品店等を毎日のように利用し、とても便利な立地であった。

チェックイン後、再び専用バスに乗り込み夕食会場へ移動した。タイ王国にて初の食事は、新鮮魚介で有名な「サボイシーフード」でタイ料理をいただいた。先入観から激辛料理を想像していたが、香辛料や別添えのソース類は辛いものもあったが、個人的にはどれ

も美味しくいただくことができた。

第3日目：バンコク市内観光 晴れ

モーニングコール 6:30

ホテル出発 7:50

朝食は、ホテルレストランで6:00から食べることができる。食事内容は、和・洋・中・泰などが揃ったインターナショナルビュッフェで、自分好みの食事がとれるのが魅力である。

朝食は、集合時間に間に合えばルームメイトと自由な時間に食べることになっている。集団行動がメインとなる本研修においては、1日のスタートを「個」の時間を確保し、好きなものを食するなど自分時間で過ごせるこのスタイルを今後も続けていくことを推奨する。

この日は寺院を中心とした観光研修を実施した。研修中は、専門とする学科や個性によりその視点はさまざま、引率者としても興味深く学びを得る機会となった。

また、この日から昼食、夕食時に一言コメントを添えた「いただきます」・「ごちそうさま」係を決めた。順番は、水野先生が適切に任命していた。これにより参加者の声や研修中の感想などを共有することができ、よい実践となった。

第4日目：学生間交流 晴れ

モーニングコール 6:30

ホテル出発 8:30

この日は本研修のメインともいえる学生間交流のため「泰日工業大学」を訪問した。

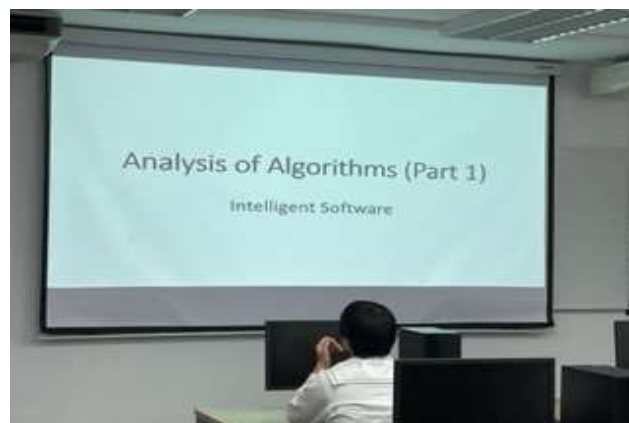
ものづくり人材育成とタイ日共創プラットフォームの構築を掲げ「工学部」・「情報技術学部」・「経済学部」と大学院課程が設置され、「学問を発展させ、産業の振興に寄与し、経済・社会に貢献する」を建学理念として2007年6月に開学した大学である。交流時に披露するパフォーマンスが引率者としては不安であったが、出国前の打合せをもとに生徒間で準備が進んでいるようだ。

専用バスで大学に到着。歓迎を受け、学内施設において学校紹介や学長挨拶などセレモニーが行われた。



泰日工業大学歓迎ボード

その後、授業見学のため2班に分かれて行動した。ランチタイムを含む学生間交流においては、折り紙やけん玉などのアイテムを介してコミュニケーションを進めていくうちに距離感も近くなっていった。また、日本から各々が持参したお土産を渡し、この日のために準備したパフォーマンスを無事に披露することができた。



授業見学

施設見学では、工業実習のための汎用機械に始まり、トヨタ自動車から支援を受け導入されている制御システム学習装置やロボットコンテスト参加機材の実演なども観ることができた。

第5日目：企業訪問・観光 晴れ

モーニングコール 5:30

ホテル出発 6:50



TOYOTAバンポー工場

この日は、ホテルから70 kmほど離れたトヨタ・モーター・タイランド社バンポー工場を見学した。この工場はタイ国内で3番目の生産拠点として開所され、主にピックアップトラックを生産し、タイ国内のみならず世界数十か国以上へ供給をしている。

8:40 現地到着。歓迎セレモニーと動画によるプレゼンテーションの後、ガイド付きで工場見学をした。説明に使用される言語はすべて英語で、海外研修に参加している実感が得られたのではないかと感じた。

見学後の質疑応答では、多くの学生が質問し、本工場では若い従業員が多いことや生産ラインで使用される部品の供給先、入社した従業員はとても満足していることなどを知ることができた。

昼食のタイ料理をリバーサイドレストランでいただいた後、観光研修のため寺院や巨大なピンクガネーシャ、100年市場などを訪れた。現地ガイドのエカパックさんの説明がとても分かりやすく、仏様はゆで卵が好物であること、タイでは曜日ごとに色や守護仏が決まっていて自分の生まれた曜日をタイの人たちは皆知っていると教えてくれた。また、巨大ピンクガネーシャの周りには曜日の色をしたネズミが立っていて、自分の曜日の色をネズミにお願いをするとガネーシャに伝えてくれるなど参考になることばかりである。

第6日目：企業訪問・観光 晴れ

モーニングコール 6:00

ホテル出発 7:10

昨日に続き企業見学、DENSO LASI TCを訪問した。

貴社は、2018年よりタイの産業支援活動の一環として、教育活動等をしている。

これまで、タイの生産工場では、多くの人材を雇い、ものづくりをしてきた。しかし、人件費や物価の高騰などから人手を減らし、生産性を向上させることが課題となった。そこで、ものづくりの自動化に関して70年の歴史あるDENSOが、自動化による生産効率向上のための知識や経験をタイの機械メーカー等へ技術支援を行っている施設である。



代表生徒からのご挨拶

お世話になった方は日本人の田中さん。日本語による対面的な対応により、より深い研修の時間となった。

その後、アユタヤ遺跡や日本人町跡を観光した。この日の夕食は日本食レストランで和食をいただいた。タイ王国にて、日本を満喫する一日となった。

第7日目：観光・出国 晴れ

モーニングコール 6:00

ホテル出発 7:30

タイ王国滞在最終日。チェックアウトを済ませ、重くなったスーツケースを転がし、お世話になったシーロムホテルを出発した。

この日は水上マーケット見学からスタート。タイでは昔から川や水路を利用した水運、水上交通が盛んであった。現在も野菜やお土産などを河岸の店舗や船上から売る水上マーケットは地元の方々の利用だけでなく観光スポットとしても人気である。

観光の楽しみ方としては、店員さんとの会話や値引き交渉が中心となる。お得な買い物

ができたり、満足できないこともあったが良い経験となった。

タイ王国最後の昼食は、タイ料理。川沿いの落ち着いた雰囲気のレストラン。ここでサプライズ企画があった。この海外研修中に誕生日を迎えた3名のお祝いをした。

毎食事では、ミネラルウォーターが提供されるが、今日はそのお祝いとしてメニューから皆が好みの飲み物をオーダーして乾杯をした。テーブルにはカラフルな飲み物が注がれたグラスが並び、ふとタイ王国では誕生した曜日で色が決まっていることを思い出した。

その後、バンコク市内のショッピングモールで、両手に抱えるほどのお土産を買い、高層ビルの展望レストランからタイ王国を眺め最後の夕食を食べた。空港までのバスの中で滞在中お世話になった現地ガイドさんとドライバーさんに感謝を伝えた。

空港に到着し、帰国のための搭乗手続きも迅速に行うことができ、タイ王国を後にした。



スワンナプーム国際空港にて

第8日目：タイ王国から日本へ 晴れ

羽田空港 6:00 到着。

入国に関する諸手続きを済ませ、到着ロビーにたどり着いた。

参加生徒の保護者の方や全国工業高等学校長協会のお出迎えを受け無事帰国できたことを実感した。

空港にて解散式を行い第23回高校生海外研修タイ王国研修は、全国から選抜された工業系高校生が参加し事故なく8日間の日程を終えることができた。

3 おわりに

旅程としては少々過密スケジュールの部分もあったが、生徒にとって、有意義な研修になったと確信している。

研修内容もタイ王国の文化や歴史的な学習、企業訪問、学校訪問・学生間交流など、体験的に多くの学びができ国際的な感覚を身につける良い機会になった。



タイで見つけた安全第一

参加生徒においては、腹痛や体調不良を訴える者もいたが大事には至らなかった。途中、本研修に参加する姿勢や関心・意欲に対する程度差が見受けられたが大きく崩れることはなかった。何はなくとも「安全第一」無事帰国できた。これも全国工業高等学校長協会ならびに添乗林様の計画・準備等による成果であり、ここに感謝を申し上げます。

最後に、本研修において引率業務の機会を与えてくださりありがとうございました。



機内食



タイ スワンナプーム空港

VI 参加生徒の報告

高校生海外研修に参加して

青森県立八戸工業高等学校
材料技術科 2年

1 学校見学

研修では泰日工業大学を訪問しました。この大学ではものづくり人材育成をモットーとした教育が行われています。現地の学生との交流ではけん玉や折り紙、バルーンアートなどを分担して披露しました。交流を通して日本文化の紹介や言葉が通じる楽しさを知ることができました。また、学校の設備の紹介ではロボットを使用した実習の体験や切削機械がたくさんある実習室を見学しました。学校見学で特に驚いたことは日本語が必修科目であるということです。現地の学生はタイ語、英語、日本語を使いこなしていました。日本と海外の教育現場を比較しながら見学できました。



泰日工業大学のみなさんと

2 企業見学

トヨタバンパー工場を見学しました。この工場ではハイラックスなどの大型車を製造しています。実際に自動車の生産工程を見せてもらいました。各部分の工程を複数の部門で分担して作業を行っていました。1つの工程は約1分で終了するためそのスピード感に圧

倒されました。質疑応答では担当の方が丁寧に対応してくださり非常に有意義な時間を過ごせました。

次に、DENSO LASI を訪問しました。ここではタイの工業技術の向上に向けた人材を育成する研修施設です。特に工業の自動化を目指した取り組みがなされています。私はモデル演習を体験させてもらいました。実際にブロックを使って工程におけるムダを省くにはどうすれば良いかを考えました。DENSO LASI はタイ政府も関わっているプロジェクトでタイの工業の発展を担う施設であることがわかりました。

3 現地見学

タイの観光ではワット・アルンやワット・ター・スンなどさまざまな寺院を訪れました。寺院によって装飾や祀られている神様が違いどれも見る価値のあるものでした。涅槃寺の巨大な涅槃やワット・パークナムの仏像はその大きさと色彩に感動しました。また、王宮跡には黄金の屋根の建物がたくさんあり王族にふさわしい雰囲気を感じました。なかでもエメラルドで作られた仏像は美しく装飾品も豪華でした。今でも王族が年3回仏像の衣替えを行うそうです。寺院に関する日本とタイの建築様式や文化の違いを体感できました。



ピンクガネーシャの前での集合写真

現地見学で1番印象に残ったのはアユタヤ遺跡です。アユタヤ王朝時代の戦争の痕が生々しく残されておりアユタヤの衰亡の歴史が鮮明に伝わってきました。ところどころ残されている首のない仏像はお金目当ての人が金の仏像を探した跡とされていることに衝撃を受けました。タイの歴史を学べる素晴らしい場所でした。



アユタヤ遺跡の首のない仏像

4 感想

今回タイを訪れて改めて日本との文化や生活する環境の違いを知ることができました。

特に驚いたことは、現地学生の語学力です。ほとんどの学生が英語を使いこなしていました。また、日本語が必修科目になっていました。日本のグローバル化の課題を認識するとともに、私自身も語学の勉強に励みたいと思いました。企業見学では、日本の自動車製造技術が世界のモデルになっていることがわかりました。またタイ政府が自国の経済発展のため、積極的に企業に関わり、工業発展を推進していることに驚きました。

日本の良さについても認識しました。訪れたタイミングは雨期で、湿度が非常に高く、慣れない気候に苦労しました。また、街には多くの屋台が出ており、日本では絶対に見ることのできない風景でした。飲み水に水道水は使えず、ペットボトルの水を飲みました。日本の過ごしやすい気候、清潔な街並み、公衆衛生のレベルの高さなど、暮らしやすさは日本の長所だと思いました。

この海外研修を終え、日本の長所や今後の課題について考えることができました。自分の世界観が大きく広がったと思います。これまで、海外へ行ったことがなく、日本の生活が当たり前だと思っていましたが、そうではないことがわかりました。また、参加する前は不安がありましたが、研修のメンバーと協力したり、刺激を受けたりすることで、楽しく有意義な1週間を過ごすことができました。この研修で学んだことや感じたことを今後の生活に存分に活かしていきます。

《Memorial photo》



タイ初日の夕食



タイ海外研修に参加して

学校法人東北工業大学仙台城南高等学校
科学技術科 2年

私は、公益社団法人全国工業高等学校長協会主催の第23回高校生海外研修に宮城県代表として参加しました。タイに到着した瞬間、経験したことのない鮮烈な暑さを感じ、この熱帯的な暑さに対する不安と今回の研修に対する期待が心の内に交錯しました。

最初の研修として、私たちは泰日工業大学での授業に参加し、学生との交流会に臨みました。泰日工業大学はその教育の中心に「ものづくり」を掲げており、私はデータ解析の授業に参加しました。スマートフォンを活用して専門用語を調べながら授業に耳を傾けることで、次第に内容を理解できるようになりました。

校内見学では、生産プロセスを支える自動搬送設備を実際に見学しました。この設備がTOYOTAの工場でも使用されていることを知り、学校で習得した知識が実務で活かされていることに感動しました。

交流会では、私は軽音楽部の経験を生かして歌を披露し、大いに盛り上がりました。タイの学生たちとは一緒に踊り、日本とタイの文化について熱心に話し合いました。これまで使う機会の少なかった英語に触れることで、言語学習の重要性を実感すると同時に、国際的な交流の魅力も再認識しました。



タイの学生さんとの写真

工場見学では、タイにある日本企業の工場を訪れました。TOYOTAのバンポー工場では、環境に配慮した「ものづくり」の実践を目の当たりにし、細部にわたる配慮に感銘を覚えました。また、燃料の匂いを嗅ぐ体験や生産ラインの見学を通じて、実務での技術や工程管理の重要性を学びました。DENSOでは、自動化と無駄の排除を追求する「リーンオートメーション」の取り組みに触れ、効率と品質向上の両立がどれほど大切なのかを理解しました。

さらにアユタヤの歴史的な建造物やワット・アルンの美しさに触れ、タイの文化遺産の重要性と共に、建築物と自然との調和から、環境への配慮の深さも実感しました。またタイの建築物は、神秘的な彫刻や豊かな装飾が施され、その多くが仏教をテーマにデザインされていました。これらの建物は、タイの長い歴史と深い信仰の象徴であり、その芸術的な美しさに感動しました。



歴史的なアユタヤ遺跡の写真

短い滞在期間でしたが、新たな経験や感動に溢れた1週間でした。また一緒に参加した仲間との交流を通じて、日本文化の多様性を改めて実感しました。この1週間で色々なことを経験し、私にとって大きな財産となりました。お世話になった全ての方々に感謝申し上げます。

タイ海外研修に参加して

秋田県立大曲工業高等学校
土木・建築科3年

1 学校見学

入国3日目に泰日工業大学を訪問させていただきました。施設設備見学では、物流の主な作業フローを体験できるシステムを見ました。昼食後は私達が準備したダンスや歌を一緒にしてくださり、楽しく有意義な時間を過ごすことができました。言葉は違えど、互いにコミュニケーションをとり、たくさんの知識を身に付けることができました。



物流の流れを体験できるシステム

2 企業見学

5日目に TOYOTA バンポー工場、6日目に DENSO LASI Training Center を訪問させていただきました。TOYOTA バンポー工場では、自動車が製造される工程を見学しました。作業員の方の仕事がとても丁寧で、製造過程でのミスを防ぐための確認作業や、たくさんの機械が通る通路では左右の確認を目だけでなく指差し確認したりと、正確さと安全性に細心の注意を払っている姿を見て、感銘を受けました。また、プレス加工の工程では、騒音を少なくすることで省エネに配慮したり、塗装の工程では塗料を水性にすることで環境への負担を考慮していることを知りました。DENSO LASI Training Center では、工場の生産効率を上げるための機械を製造している企業で、機械の自動化を進めているタイには無くては

ならない企業だと思います。また、単に自動化するのではなく、現状の無駄を減らすという行為を繰り返していくことで、機械だけに頼らない効率化を図ることができると聞き、この考え方は様々な事にも通じると思いました。

3 現地見学

タイの街中には国王の写真があり、国王と国民の繋がりが強いのがよく分かりました。また、お坊さんが托鉢で貰ったものを貧しい人に分けたり、ピンクガネーシャでは貧しい人の葬式のためのお金や、油を集める棺があり、仏教の人もヒンドゥー教の人も宗教を強く信仰しており、日本ではあまり見られない光景に驚きました。



ホテル近くの市場

4 感想

今回の研修を通して、大学や企業、建築物からたくさんのことを学び、自分の視野も広がりました。短い間でしたが、仲間から学んだこともありました。お世話になりました関係者の皆様ありがとうございました。



最終日、バイヨークスカイより

タイ王国研修報告と感想

茨城県立つくば工科高等学校
ロボット工学科 3年

1 到着して気づいたこと

タイのスワンナプーム国際空港へ到着し、まず思った事は、水平型エスカレーターのスピードが速いという事でした。足をつけた瞬間凄まじいスピードで歩くことができるので、これは便利だと思いました。次に、空港内の色のアクセントの違いに気づきました。羽田空港では白が特徴的であるのに対して、スワンナプーム国際空港では紫や青、黄緑などの組み合わせが特徴的で、色はその国の雰囲気と国民性を表すものだと感じました。さらに、手荷物受取所のコンベアが金属製であることに驚きました。日本ではラバーを使用していることから、安全に対しての価値観が異なるのだなと思いました。世界から評価される日本の安全性は、国民性から成り立っているのかもしれない。

2 学校見学

今回の海外研修では泰日工業大学を訪問しました。研修では、授業体験、現地の学生との交流、施設見学を行いました。授業体験では、プログラミングに必要な数学の授業を英語で聴講しました。学生との交流会では、ダンスを披露したり折り紙をしたりしました。私は司会を任されていたので、タイ語で司会をしようと思い、早朝にガイドさんからタイ語の発音を教えていただきました。練習時間が短かったものの、伝わった時はとても嬉しかったです。その後、施設見学で自動車や輪投げロボット、産業用ロボットを見学しました。Electric Vehicle に改造したバスや改造中の車などの普段では見られないような設備までみることで楽しかったです。

また日本ではあまり見ることができなかった ABB 製のアームロボットを見ることができたこともよい経験となりました。

そして、本海外研修に参加した動機でもある、現地の方に自分のアイデアを提案し議論したい、という目的も果たすことができました。

私は昨年度のロボットアイデア甲子園で、「産業用ロボットの共通化」について提案しました。私の提案は、全国大会において最優秀賞をいただくことができたのですが、その際、審査員の方からいくつかコメントをいただきました。その中のひとつに、産業用ロボットが共通化できていないことは、多数のロボットメーカーが競い合う日本特有の課題であるというお話がありました。このため、私のアイデアについて海外の方たちからどう評価されるのかを知りたいと考え、今回の海外研修へ参加しました。

実際にプレゼンテーションを行う機会を設けていただき、教授や学生の方に私のアイデアを説明することができました。教授は、私のアイデアに興味を示してくださり、機構についての質問もしていただきました。

私のアイデアを国外でも発表することができ、さらにいただいた質問や指摘などから、今後の課題も明確にすることができました。

海外の方々やロボットやその技術に関する議論ができる機会は本当に貴重であり、大変良い経験になったと思っています。



泰日工業大学

3 企業見学

今回訪問した企業は、TOYOTA 社バンポー工場と DENSO LASI Training Center です。

TOYOTA 社バンポー工場では従業員の心身の健康を大切にしていることに、私は感銘を受けました。熱心に作業に取り組む従業員の姿を見て、良い仕事をするためには心身の健康が大切であることを学びました。

次に訪問した DENSO LASI Training Center では、現地で工場の自動化の対応を実現するための教育が行われていました。実際にどのように自動化の教育を行うのか、体験させていただきました。1 台のミニカーの各パーツが揃えられ、それを組み立てながら無駄な作業が何かを考えるとというもので、実際にやってみると普段人間がする作業には無駄が多いことがわかりました。そしてアームロボットの操作も体験させていただきました。



DENSO LASI Training Center

4 現地見学

まず、中心のバンコク都では、様々な寺院を訪問しました。数ある寺院の中からワットパクナムが印象的でした。ワットパクナムの大仏塔の 5 階には、幻想的なエメラルドの仏塔と天井画が飾られ、初めて見た私はあまりの美しさに鳥肌が立ちました。

次に東のチャチュンサオ県でワット・ソートーンやピンクガネーシャ、100 年市場などを訪問しました。バンコクから離れたワット・ソートーンという寺院では現地の方々が多く訪れていました。

ワット・サマーン・ラッタナーラームのピンクガネーシャという巨大なピンク色の像を見た時には、その迫力に驚きました。

さらに北のアユタヤ県へ行き、ワット・マハタートやワット・プラシーサンペットでビルマ軍（ミャンマー）の侵攻によって破壊された仏塔を訪問しました。その中でも頭の無い仏像が印象に残りました。破壊された建物をみて、争いごとはよくないと改めて感じました。

最後に西のラーチャブリー県の水上市場でお買い物をしました。ボートに乗って船に浮かんだ商品を買うというタイの伝統文化を体験できて楽しかったです。



ワット・ソートーン

5 感想

海外研修で現地の方々と交流できて自ら発言することの大切さや、異文化交流することの楽しさを学びました。中でも現地の方々と仲良くなった時や他言語が通じた時にはとても嬉しかったです。また、現地の方からいただいた私の産業用ロボットの共通化に対する意見の中で、各メーカーにそれぞれ特徴があり、自分の客がいて、共通化によって各メーカーの客がいなくなってしまう可能性があるという意見が、今後の私の課題点だと思いました。普段とは違う環境で生活することで他人の価値観を認める力や受け入れる力も向上したと思います。今回の経験をもとに、もっと多くの国へ行き、多様な文化に触れたいと思いました。

タイの海外研修

栃木県立宇都宮工業高等学校
電子機械科 3年

今回の海外研修は全国工業高等学校長協会が主催するもので、今回の研修で行ったのはタイの首都バンコクとアユタヤでした。研修には私を含め全国の工業高校から 21 名が参加しました。

1 企業見学

DENSO LASI では工場の自動化について教えていただきました。工場の製造工程をロボットアーム等で自動化することで作業員の負担が軽減され効率化される事やヒューマンエラーがなくなることが予想できます。実際にブロックを組み立てるように制御した装置を見て、人々がより快適なくらしを得るために機械化による自動化・効率化が一番重要な要素だと思いました。私はこの先、大学でアームロボットについても研究したいと考えていたので研修で動かすことができ、製品は使用する人のことを考えてつくるということを改めて実感しました。高校での実習の時間でラダー図を作成し FA 装置を動かしましたが学校の装置は空気圧を制御することで自動化していましたがタイの DENSO では現地で空気を用意する事の苦労を考慮し装置は空気を用いず電気での制御を行っていました。



ロボットアームによる工場の自動化モデル

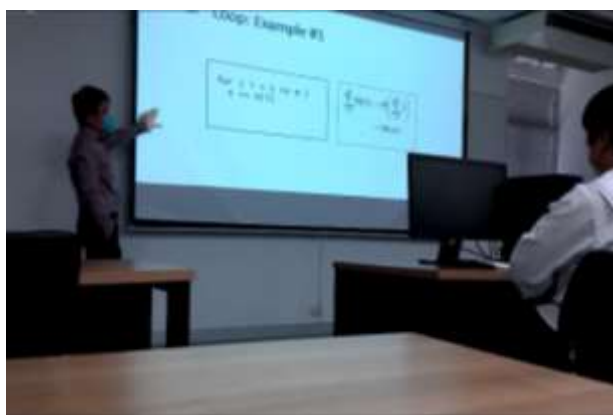
自動化の意義・技術、機械の使用を考えた装置の要素について学ぶことができました。ここでの体験は今後どのようなものをつくる時でも重要で役立ちます。

TOYOTA バンポー工場では自動車の製造ラインを特別に見学させていただきました。自動車だけでなく自動車を製造しているロボットについても学ぶことができました。

2 学校見学

泰日工業大学の見学と現地の学生との交流をしました。タイについての理解を深めるだけでなく、タイから見た日本の姿についても多くを知ることができました。泰日工業大学はタイと日本が協力して作った機関で、日本出身の学生や日本語を勉強しているタイの学生と文化交流を行いました。空手・けん玉などを披露し、皆で折り紙をしました。コミュニケーションをとりながら見学することができタイでの工業・文化について理解を深めました。

講義にも参加させていただき、プログラミングについての話が聞けました。泰日工業大学では多くの国から留学生が在籍していて授業は英語で行われていました。英語の知識もプログラミングの知識もまだまだ足りないと感じました。今まで英語の資格試験のために勉強をしていましたが、実際に理解するためにはもっと英語の勉強が必要になりました。これからも勉強を続け、海外留学をすることで様々な学びを得たいです。



泰日工業大学での講義

3 現地見学

バンコクではタイ語のほか英語が使われているので、買い物のときにはお互い片言の英語やジェスチャーで値切り交渉をしました。発音や文法が完璧でなくても相手へ伝えようとする意志がコミュニケーションをとる上で重要なのだとわかりました。このようなことも、実際に体験してみないと分からない事だと思いました。

タイでもインターネットに接続できるか少し不安でしたが日本よりもスムーズに接続しました。

食事については衛生面にとっても配慮していただきました。水や生ものに注意するというので、滞在中の飲料水は十分な量を用意していただき、また毎食ごとに高級そうなレストランを予約していただいていた。タイ料理は酸味と辛み、パクチーなど苦手といていたメンバーもいましたが、毎回メニューが豊富でそれぞれが気に入ったメニューをとりわけて食べていました。食事にはパイナップルやマンゴー、パパイヤなどのフルーツが用意されていて南国感があっておもしろかったです。私は特にパイナップルチャーハンがおいしかったです。



4 感想

今回の研修の私の目標は、タイの技術と現状を知ること、タイの感覚と英語についてです。タイの技術と現状を知るとは、タイの産業やその文化について学び、今後の勉強や研究または将来に活かせる知識を身につけること、タイの感覚と英語については、将来世界で活躍するうえで国際感覚を磨くために、世界に目を向けることで自分自身の視野を広く持つことにあると考えます。少しでも多くのことを学び、知識を得たいという気持ちでした。

今回、海外研修でタイに来て、企業の現状を学んだり、現地学生との交流をしたり、普通の旅行では体験できないようなことを経験でき嬉しく思います。タイの良さを知ることによって日本との違いなどを発見でき、今回の研修で得たものは非常に大きかったです。さらに日本全国に友人が出来たことも大きかったです。みんなのおかげで楽しい研修になりました。それぞれの学校で学んでいることや、将来の進路の話、これからの工業についてなど色々な話ができたことは今後の活動のモチベーションになりました。

素晴らしい研修の機会を与えてくださった、学校の先生方や全国工業高等学校長協会の方々、ならびに協力してくださった方々、本当にありがとうございました。



ワットアルンでの集合写真



タイ王国海外研修に参加して

群馬県立太田工業高校
電子機械科3年

1 学校見学について

学校見学では泰日工業大学を訪問しました。体験授業では数学の問題を考えましたが、全て英語だったためあまり理解はできませんでした。日本語でない授業を受講した新鮮さと同時に、自分の英語能力の低さに気付かされました。その後大学生との交流会があり、空手やけん玉、折り紙やダンスで交流を深めました。それぞれの科の施設見学で特に印象的だったのは、自動車科の自作自動車で、電気自動車さえも作れてしまうことに驚きを感じました。現地の大学生と交流することで、英語での会話やタイ文化を知ることができ、異国の文化を知ることが視野の拡大につながると感じました。



現地大学生との記念撮影

2 企業見学について

企業見学では TOYOTA バンポー工場と DENSO LASI Training center の見学を行いました。

TOYOTA の見学では日本では機械やロボットを使う作業をタイでは手作業で行っているところがあり驚きました。タイでは人件費が日本と比べて安いので機械を導入するよりもその分人を使ったほうが良いと仰っていました。TOYOTA という日本の大企業が海外に生産

拠点を持っていて、現地の人々に愛されていることに喜びと誇りを感じました。

DENSO LASI Training center は自動化について学ぶ学校のような場所で、自動化するものをまず手作業で行い、どうすれば効率化できるのかを追求していくということを学ぶ施設でした。トライアンドエラーを繰り返すことでより良い効率が生まれると知り、失敗したことや悩んだからこそ得るものがあるのだな、と感じました。私も失敗を恐れずに何事にも挑戦できるような工業人になりたいと改めて感じました。

3 現地見学について

現地見学では多くの寺院や旧王宮、日本人町跡や世界遺産のアユタヤなど様々な観光地を訪れました。美しい装飾の寺院や仏像と戦争で破壊された首のない仏像など、私の想像を遥かに超える衝撃的かつ感動的な光景を目の当たりにして、開いた口が塞がりませんでした。まず異国の文化や歴史に触れることが、異文化理解や他国協力の大きな一歩となることを身をもって確信しました。

4 感想

このタイ王国海外研修で私の中の「普通」がそうではなくなりました。言葉が通じないこと、水道水を飲むことができないことなど、私達が普段当たり前と言えることが実際にそうではないという事を実感しました。この新鮮で大切な気持ちを周りに伝えていきたいと思います。ありがとうございました。



アユタヤ ワット・プラシーサンペット

海外研修を終えて

埼玉県立大宮工業高等学校
建築科 3年

1 学校見学

研修4日目に学校見学として、バンコクにある泰日工業大学(TNI)を訪問し、施設見学と体験授業に参加しました。施設見学では、TNIの学生達が授業時に実際に作ったロボットなどを見学しました。体験授業では、授業参加としてTNIの学生達と一緒に授業を受けました。また、TNIの学生との交流の場面では、日本文化や特技の披露をしたり、日本からのお土産を渡したりして、短い時間でしたが両国の学生同士の仲が深まりました。



タイの学生との写真

2 企業見学

研修5日目にチャチュンサオにあるTOYOTAバンパー工場を見学し、6日目にDENSO LASI Turning Centerを訪問しました。日本の大手自動車メーカーであるTOYOTAの工場見学では実際に車を作っている現場を見てから、質疑応答を行いました。日本よりも自動車の使用率が高いタイの人々の生活を支える自動車1台を作るのに多くの人が関わっているのを見て、日々の自分の生活に有難みを感じることができました。

DENSOは、日本では自動車部品メーカーとして有名ですが今回訪問したDENSO LASI Turning CenterはDENSOの自動生産システムである「リーンオートメーション」をもとに

システムインテグレータを育成する施設です。タイでは近年就業労働人口の減少と人件費の高騰により高度な自動機主体のモノづくりへの転換が課題となっています。この課題を解決する為の正しい工程を教えているDENSO LASIでは業務の改善と効率の大切さを学ぶことができました。無駄の排除による改善と効率を良くする事はロボットだけでなく日常生活にも役立つ知識だと思いました。



DENSOの作業ロボットの見学

3 現地見学

研修では現地見学を通して、タイの特色に触れることができました。研修5日目のチャチュンサオ観光ではワット・ソートーンとワット・サマーン・ラッタナーラームの2つの寺院に行きました。ワット・ソートーンは前国王のプミポン国王によって建てられ、建物の前にはうさぎの石像が沢山並んでいて不思議でしたが、プミポン国王の干支ということでした。ワット・ソートーンの中は白と金を基調とした色で大理石が多く使われていて日本の寺院とは全く違うので驚きました。お供え物としてゆで卵を奉納するという所もユニークで面白いと思いました。

ワット・サマーン・ラッタナーラームは幅16m、高さ24mのピンクガネーシャ像が有名な寺院で迫力があり、全体的に色鮮やかでテーマパークのようでした。タイでは生まれた曜日の色が決まっていて、この寺院では曜日の色分けが分かりやすくされていました。ガネーシャの周りを囲むように曜日の色にな

っているネズミがいて、自分の曜日の色をしたネズミにお願いすると良いとされていることが分かりました。寺院は現地見学で1番日本との違いを感じることができたプログラムであり、建築物を実際に見ることによって勉強になりました。



ソートーン大仏礼拝の様子

4 感想

私は今回の研修で積極性と協調性を意識して参加しました。そして、この研修に参加した他県の工業高校生の一人一人の意識が高く、自分にとって良い刺激となり有意義な時間にする事ができました。

海外研修を通して学校の先生や保護者、研修を通じて知り合った仲間や引率の先生方などの周りの人のおかげで自分を成長させることができていると感じることが研修中多々ありました。この有難みは普段の生活で実感することはあまりありませんでしたが、研修後の生活の中で自分が多くの人に支えられているもの毎日を送ることができていると感じました。

私は研修に参加して、初めて日本を出て改めて世界から日本という国を見つめ直したとき、日本は世界からも一目置かれる存在であり、誇れる国であると再認識しました。今回海外研修に参加した生徒たちと1週間という期間で自分自身を高め合うことができ、今後の人生において大きな通過点になりました。最初は海外

を体験してみたいという気持ちで応募しましたが、1週間の研修プログラムの全てが異文化に触れるチャンスであったこと、チャレンジの場であったことで希望や人脈が増えたことにより将来の幅が広がったと思います。今回の経験を活かせるように日本だけではなく世界にも視野を広げることを意識し、近年のグローバル社会の中で成長できるよう努力していきたいと思います。

《Memorial photo》



センターポイントシーロムホテルからの風景



ツインタワーホテルでの昼食

海外研修に参加して

福井県立科学技術高等学校
産業デザイン科 2年

1 学校見学

学校見学で泰日工業大学(TNI)を訪問しました。最初は Business Intelligence という授業に参加しました。言語が英語だったので聞き取るのが難しかったけど、後から調べてみると企業などの組織のデータを収集したり、分析したりすることによって経営上などの意思決定に役立てる手法や技術のことを勉強していると知りました。

TNI の学生さんとの交流会では、日本の文化を紹介したり、一緒に折り紙で鶴を折るなどの交流を深めたりしました。鶴の折り方を教える時どう言えば伝わるか最初は困ったけど、簡単な英語を使ったり、ジェスチャーをしたりすることで上手く相手に伝えることが出来てとても嬉しい気持ちになりました。今まで、他国の人たちと交流をしたことがなかったので、言葉の壁があっても積極的に楽しく交流することが出来て良かったです。

交流会を終えて学内の研修施設を見学しました。特に、人間の代わりに物を運搬したり、リハビリをしたりするロボットなど、どの施設にも大きな機械が並んでいて驚きました。TNI の学生の方々は日本のものづくりを学ぶために多くの事を勉強していて、将来、日系企業への就職を希望していたり、日本の事が好きと言ってくれる学生さんがたくさんいて嬉しく感じました。



交流した TNI の学生さんと

2 企業見学

企業見学では、日系企業の TOYOTA バンポー工場と DENSO LASI Training Center を訪問しました。

最初は TOYOTA バンポー工場に訪れ、実際に車を組み立てている所を見学しました。組立工程は日本と変わらず、一つ一つの工程を何時間もかけて組み立てていて凄いなと思いました。また、タイで多く見られたハイラックスがここでたくさん生産されていると知り驚きました。なかなか見ることが出来ない他国の製造ラインが見られてとても貴重な体験でした。

DENSO では、自動車の部品を組み立てたり、人間の代わりになる無駄な動きをなくした産業用協働ロボットなどが作られていました。タイでは労働人口が減少、人件費が高くなっていることにより、生産工程において無駄を排除した効率の良い自動生産システムである「リーンオートメーション」を取り入れていると知り、技術の進歩を間近で体験することが出来ました。企業の研修を終えて、タイには多くの有名な日系企業が進出していて、自分が思っていたより日本とタイが深い関係であることを知りました。

3 現地見学

タイに到着して最初の日には観光巡りでした。たくさんの寺院を見て回ると、日本の寺院とは建物の形が全然違うことに気づきました。タイの寺院はほとんどが円錐のような形をしていて黄金色のものが多いと感じました。一番印象に残っているのが、ワットパクナムのエメラルド色の仏塔です。私はあんなに美しい仏塔を見たのは初めてで、どれも人間が一つ一つ作っていると考えると、とてもすごいなと思いました。チェチュンサオ観光では、幅 16m、高さ 24m の巨大なピンクのガネーシャ像を見ました。写真で見るとより迫力があったので驚きました。また、町を歩く度に、珍しい建築物や置物を見つけるので、見ていて飽きませんでした。



ワット・ア룬の前で

4 感想

私がこの研修を通して学んだことは文化の違いです。日本では当たり前の習慣がタイにはなかったり、同じ仏教の日本よりも仏教への信仰心が強かったりと直接五感で文化の違いを感じることが出来ました。また、タイには優しい人がたくさんいると思いました。一週間付き添ってタイの歴史について教えて下さったガイドさんやホテルの方々、大学や企業の方々、屋台などで働いている人たち、多くのタイの人々が笑顔で親切に接して下さいのおかげで自分も自然と笑顔になりました。さすが「微笑みの国」だと思いました。私は個人的に値段交渉をするのが楽しかったです。値札が付いていないと値切れるので、自分の希望の値段を言って値切ると、いつも相手の方は嫌な顔をせず値段を安くしてくれました。日本ではあまりない体験ができて嬉しかったです。今回のこの海外研修に参加して、最初は初めての海外で不安だらけだったけど大きな貴重な体験になり、勉強にもなりました。また、一週間何事もなく楽しく過ごせたのは、ここまで連れてきて下さった先生達や研修生のみんなのおかげです。一期一会の出会いに感謝しています。

《Memorial photo》



チャクリー・マハ・プラサート宮殿 集合写真



ワットア룬
入場チケット



ワット・ポーの黄金に輝く涅槃仏



第 23 回海外研修を終えて

福井県立坂井高等学校
情報システムコース 3 年

1 初めに

私は中学生のころ、ホストファミリーとして外国人の方を自宅に受け入れて以来、海外と日本との文化の違いに興味を持っていた。そして、工業高校に通っている今、文化面のみならず、産業面でのグローバル化が進んできている海外を体験したいと思い、この海外研修に応募し、タイに足を踏み入れることとなった。

2 泰日工業大学での研修

大学に到着すると、大学の先生たちが出迎えてくれて、日本語で歓迎のあいさつをしてくれた。その後授業見学に移り、大学生の授業の様子を見せてもらった。そこでは、学生のみなさんの授業への姿勢や積極性に驚かされた。

大学生とのレクリエーションでは、まず自分たちで大学生に日本ならではの個人技を発表した。研修生全員で出し物も考え、大学生と一緒に、歌を歌いダンスを踊った。学生の人たちはとてもフレンドリーでコミュニケーション能力もとても高かった。



泰日工業大学にて

レクリエーション終了後は、学校内の設備や各学科を見て回った。広大な敷地で設備もとても整っていた。使用している機械は実際に工場で使用されているようなものばかりだった。なかでも、自動運搬装置は、自分の学校のものとは少し違った作りをしていたのでとても興味がわいた。

大学研修をして驚いたことは、大学生の語学力だ。大学生の中には日本語がとても上手で、日本人でも取ることが難しい資格を持っている学生もいた。そんな学生の人たちと英語を使いながらコミュニケーションをとり、理解し合うことの楽しさを知った。タイの学生生徒たちは、日本の生徒よりも何にでも積極的に取り組んで、先生たちとの仲を大切にしている姿勢が感じられた。自分の学校の生徒たちも、このようになれば授業だけでなく学校生活がもっとよくなると思った。

3 企業研修

最初に TOYOTA バンポー工場に訪問し、車の製造工程を見学した。工場にはコンベアが設置されており車を移動させながらエンジンやドアなどを着けて完成までの工程を一つの工場で行っていた。企業秘密で工場内の写真などは禁止されていたが、見学後の質疑応答では、すべての質問に答えてくれた。TOYOTA はタイ以外にも、100 カ国に会社があり、タイには 3 カ所にあった。バンポー工場では、フォーチュナータイプという車を主に作っていて、日本もそのフォーチュナータイプをタイから輸入していたことを知った。工場内は意外とコンパクトに収まっていて効率を考えられた現場だった。施設には、従業員が働きやすいような仕組みがたくさんあり、工場を見て回っていても従業員全員がコミュニケーションをとりながら一生懸命、仕事をしていることが分かった。

別日には、DENSO という企業に訪問した。DENSO は、以前は車の部品を製造していたが、現在は作業工程の自動化について研究してい

る会社だ。5年前にタイのLASIという組織と連携してタイの物作りを発展させるために車の部品以外の物も作り始めた。その中で自動化を目指しているDENSOは、賃金が高くなっている今の時代、従業員を減らすための自動化の仕組みをいろいろな会社に教育していた。

私がDENSOで、「組み立ての作業でも、『物を持つ』、『部品を着ける』、持つにも『縦に持つ』『横に持つ』、着ける作業にも『部品の向き』など、意外と意識的に頭で考える作業が多いが、その作業をどれだけ減らせるかを考えることによって、自動化につながっていく」と聞き、身の回りの無駄な動きをなくすことによって、より視野が広がり効率があがるに違いないし、これからの自分の行動が大きく変わるに違いないと感じた。

今回の企業研修では、日本の企業がタイでどのような活動をしていて、その活動を通してどのように社会貢献しているのかがよく分かった。企業の人たちの考えや意見を直接聞くことによって、とてもインスパイアされ自分の考えがいい方向に大きく変わった。

4 現地見学

タイでの現地見学では、タイの文化や仏教について観光地や施設を回りながら学んだ。ワットアルン、ワットポー、ワットパークナム、ワットソートン、世界遺産であるワットマハータートに行った。どこもタイの仏教の歴史やそれに関わった人々、暮らしぶりまでもが伝わってきた。船に乗ってタイの街並みを見て回った時には川の上に家が建っていて、家を支える柱が何本か川から出ている上に家が建っていた。タイは貧富の差が激しい国でもあるので、そんな差がない日本との違いを間近に見て、違いについて考えさせられた。

また、100年市場や水上マーケットなどタイでは有名な市場を見て回った。100年市場は実際に現地の人たちが買い物をしたり食事をとったりする場所で、タイの人たちの普段の生活や文化を直接、感じる事ができた。

名前の通り100年以上続いている現地の人たちに愛された市場だ。水上マーケットでは、お土産を買った。タイは川が多いので、昔からそれを活用し水上で商売しているそうだが、その人たちの考えに驚かされた。タイは、日本に比べて物価が安いでだけでなく、値切るのが当たり前。買い物なので買い物をすることは、いい刺激になった。

私は寺院を回ってみて、タイの人たちの仏教に対する気持ちの強さに驚いた。仏教へのお金の使い方はもちろん、宝石や金を使った寺院は日本とは違いとても煌びやかだった



ワットプラケオ(宮殿)にて

タイでは国王が仏教を愛していて、その国王を信頼している国民も仏教を愛することによって仏教が盛んになったのだと、たくさんの寺院を見て回って感じた。

5 感想

この海外研修は私にとって、初めての海外というものもあり、全てのことが経験したことないことばかりだった。日本とは違う他国の文化や生活に触れることができ、とてもいい経験になった。企業見学を通して、両国の企業の発展や取り組み方についても深く知ることができた。

私は研修中、現地の人とのコミュニケーションをとるなかで、言葉の違いを超えて人とつながることの楽しさや難しさを知ることができた。そして、現地の人たちの明るさに励

まされ助けられた。また、現地見学では同じ仏教を信じる日本とタイの仏教への信仰心の違いを目の当たりにして、同じ仏教徒として考えさせられることがあった。日本との違いを自分の目で見て体で体験してみたことが楽しくて毎日がとても有意義で充実したものだだった。

今回の海外研修を終えて、海外の工業や文化、日本との関係に、より興味を持つことができた。何より日本全国から集まった仲間と集団行動し、自主的に物事を考え、時にみんなまで考えを出し合い、いい研修にしようと頑張った研修期間が何より自分の成長に繋がった。私は今回の研修を活かし、次は自分で海外に行き新しいものをたくさん見聞きし吸収し、人間的にさらに成長していきたい。

《Memorial photo》



ワット・パークナムの巨大な仏像



ワット パークナム パーシーチャルーン



ターティアン船着場



ターティアン船着場から船でワットアルンへ

発見・体験・大冒険！ 研修で学んだタイの魅力

静岡県立科学技術高等学校
機械工学科2年

私は、本研修にいくつかの目的をもって臨みました。その1つが「タイの文化について学ぶ」ということでした。事前にタイの気候や寺院、食事など、さまざまなことを調べましたが、実際に現地に行ってみると、本やインターネットの情報などではわからないことが数多くありました。最初に気候についてですが、タイは暑い国だと想像していましたが、蒸し暑い日本の夏より涼しく感じられました。続いて、料理についてです。初めて口にしたタイ料理は、様々な香辛料が使われており、基本的に辛いものが多かったのですが、チャーハンの具にパイナップルが入っていて、その見た目も味にも驚きました。生活面では、蛇口の水をそのまま飲めないことや、街中の渋滞の激しさに日本との違いを感じました。



初めてのタイ料理

企業見学では、TOYOTAの工場とDENSOの教育施設を訪れました。TOYOTAでは、そこで働く人々の休憩時間が多くとられており、生産性よりも労働者を大切にする姿勢に感心しました。DENSOでは、教育プログラムを体験しました。手動の作業から、半自動化、そして全自動へ生産方法を変えることにより、効率が飛躍的に向上することを知ることができました。

現地見学では、寺院や市場を訪れました。

特に印象に残っているのが、アユタヤ遺跡です。タイは東南アジアで唯一、植民地にならなかった国です。ここは歴史と伝統的な文化が息づいている場所でした。タイは、仏教徒が多く、「小乗仏教（上座部仏教）」というそうです。同じ仏教でも日本との違いを感じました。

研修の2つ目の目的は、「国際力を高める」ということでした。現地の方々とのコミュニケーションは、全て英語で行われました。昨年の夏、学校で行われた英語研修に参加したことで、その経験を生かしてみたいと考えていました。今回、自分の英語力でも基本的なコミュニケーションを取ることができたことで、自信が持てました。同時に、あらためて語学の大切さを感じる機会にもなりました。



アユタヤ遺跡での記念撮影

今回は、タイの様々な文化や歴史を知ることができました。また、全国で工業を学ぶ仲間と出会えたことは、私の宝物になりました。そして1週間お世話になったガイドのさんは、とても優しく、いつも笑顔を絶やさない、まさに「微笑みの国タイ」の象徴のような人でした。

タイで経験したことを、いろいろな方々に伝えたいと思います。お世話になりました。

関係者の皆さん、本当にありがとうございました。

『 khōp khun khráp 』



ガイドさん

海外研修に参加して

愛知産業大学工業高等学校
電子科3年

1 学校見学

研修4日目の7月25日に泰日工業大学に訪問しました。大学の中を見学し学科や設備の説明を受けました。そこには日本の高校や大学にある機械設備がありました。さらにタイにも私たちのいうものづくりコンテストのようなものがあるということも知ることができました。タイの学校にも日本との共通点が沢山あることを知ることができました。現地学生とは、日本の文化紹介と昼食の時間に交流しました。文化紹介では空手やけん玉、折り紙をみんなで折るなどの出しものをして交流しました。昼食の時間には学生と一緒に日常の会話をしながら交流しました。その後には私たちのサプライズで恋するフォーチュンクッキーのダンスを披露し、日本のお土産も渡しました。どれもいい反響だったのでうれしかったです。

その後にはキャンパス内を散策して、学生おすすめのドリンクを買いました。その際に学生が着ていたTシャツに私が知っているキャラクターが描いてあったので、それがきっかけでゲームや趣味の会話ができたのがとてもうれしかったです。



現地学生と記念写真

2 企業見学

研修5日目の7月26日にはTOYOTAバンボ一工場、研修6日目にはDENSO LASI Training Centerを見学しました。

TOYOTAバンボ一工場では実際に製造ラインを上から見学しました。私は日本のTOYOTAも見学したことがあるのですが、大きな違いはなく日本と類似している点が多いと感じました。

見学の後には質疑応答の時間を設けてもらい沢山質問しました。みなさんやりがいをもって仕事をしていました。

DENSO LASI Training Centerでは、無駄を排除した効率の高い生産システムであるLA「リーンオートメーション」について、実際に手を使ってレゴの車流れ作業の効率化について考えました。少しの工夫で完成する時間が短くなったので、製造ラインではその少しの改善が重要だということを体験できました。

3 現地見学

私が現地の観光で一番印象に残ったのは研修7日目の7月28日に行った、ダムヌンサドゥアク水上市場です。あまり幅のない川に何艘もの船が浮いているので、船との距離感や密集度に驚きました。さらに店の構え方と商品の陳列が、足場もほぼないのにキレイにされていることが衝撃的でした。船を降りると急に腕を掴まれたりして、「ヤスイ」と言って物を売ってこようとしてきました。事前の下調べのしなかった私は、少し値切りしたら商品を強引に買わされてしまいました。バスに戻るとみんなはキッパリ断ったり、もっと安く買うなどしていたので調べなかったことに後悔しました。慣れない通貨だったり、私の押しに弱いところが出てしまってけっこうもってかれました。ですがこれも学びと思いい出になったのでよかったです。

《Memorial photo》



水上市場にて



エメラルド寺院 ウィハーン・ヨート

4 感想

まずこの海外研修に参加できたことがうれしかったです。この8日間雨季のスコールに見舞われることなく、20人の仲間と3人の先生と添乗員さん、それとバスガイドさんドライバーさんと安全に楽しく研修を終えられてとてもよかったです。日本にいただけでは体験できない色々なものに、見て触れて食べて感じる事ができてとても刺激されました。今回の研修で見たこと知ったこと全てを、今後の学校生活や社会で活かしていきたいと思えます。



タイの海鮮料理



ガネーシャの前で記念写真



タイスキ だいすき♡



トヨタバンポエ工場の工場見学セット

タイ海外研修に参加して

三重県立四日市工業高校
自動車科 3年

私は、今回公益社団法人全国工業高等学校長協会主催の高校生海外研修に三重県代表として参加しました。タイについては、自動車産業が盛んなことしか知らず、現地についてときから驚きの連続でした。バンコクの町並みにしても一見高層ビルが立ち並ぶ都会のように見えて、所々にあるスラム街や大きなお寺などあり急激に経済成長した国であると感じました。また、衛生環境が整っていないため日本では当たり前に行ける水道水を飲むことや出店の食べ物を食べるなどが、ほとんどできず、日本の衛生環境の良さを痛感しました。このように一見日本とは違う国に見えるけど仏教を信仰してる人が多いことや、自動車産業が盛んなことなど日本との共通点も多く違う国に見えて似ている国だということ学びました。



アユタヤの王宮跡地

今回の研修では、タイの日系企業の工場見学、現地大学生との交流、寺院の見学、タイの歴史について学びました。工場見学では、タイの日系企業であるトヨタの工場へ行きました。私は、日本にて二度ホンダの工場へ工場見学に行ったことがあり、比較しながら見学することができました。見学して驚いたのは、日本の工場ほどではなかったけれど自動化が進んでいたことから、徐々にだけでも最新の技術を取り入れていこうとする感じが伝

わってきました。逆に工場内に鳩などが普通に入ってきていて鳥の糞などが完成した車体についたときはどうするんだろうと思いました。完成した車体をきれいに保つ工夫が必要だと思いました。

今回の研修で一番嬉しかったことがあります。トヨタの工場の方の話をきいていると、その方がトヨタが好きであることが伝わってきました。日本企業であるトヨタが遠く離れたタイで愛されていると感じ、日本人としてとても嬉しい気持ちになりました。



トヨタの工場での記念撮影

現地大学生との交流は、最初言葉が通じることなど不安だらけだったけれど話をし出すと意外と話せて、考えるよりもチャレンジすることが大切だと感じました。また、タイの仏教にふれてタイの人にとって仏教とは生きる上で欠かせないものというのが伝わってきて、日本でそこまで宗教について考えていなかった私にとってはとても変な気持ちになりました。他にもタイの寺院はとても派手に作られており最初寺院と聞いて日本の寺院が浮かんたわたしにとっては、その違いにたいへん驚かされました。しかし、町並みを見て行くうちに国の特徴が表れていると思ひ納得しました。

初めての海外、しかも知っている人がいないというとても不安な中始まった海外研修でしたが、始まるとそんなことを考える余裕がないくらい驚きと発見があり今回の研修は私がこれから生きていく上でとても大切な1週間となったと思います。最後に今回お世話になりました先生方ありがとうございました。

第23回高校生海外研修を通して

滋賀県立安曇川高等学校
総合学科 3年

1 学校見学

海外研修4日目に、泰日工業大学(TNI)へ研修訪問しました。TNIは、タイと日本の友好とタイ産業界の人材育成を目的に設立された私立大学です。オープニングセレモニーではTNIの学長をはじめ、多くの方から激励の言葉をいただきました。

研修では、まずビジネスインテリジェンスについての講義を受けました。当たり前ですが、先生や周りの大学生がみんな日本人ではないという環境にとっても緊張しました。講義は全て英語で進み、日本の英語の授業とは話すスピード、発音も全く別物に感じ、理解するのにとても苦労しました。その後は、商品の製造からお客様の手に届くまでの一連の流れを学ぶ実習室を担当されている、経営学部の教授の方に一工程ずつ説明をしていただきました。高校で行うFA実習より規模がとても大きく、自動ロボットのプログラミングなどより実践的な学習ができると感じました。そして、昼食はTNIの学生と交流をしながら取りました。私の隣に座られた学生の方とは、英語でコミュニケーションを取りあいました。ただ、私が相手の英語を理解できなかつたり、カタコトの英語で伝えようとしてもうまく伝わらなかつたりして、コミュニケーションをとるのにとても苦労しました。ですが、何とか伝えようと頑張ってみると意外と何とかなるもので、お互いの趣味やその方の日本留学の話題などで話がはずみました。その方とはSNSで繋がり、帰国してからもお互いの投稿に反応し合ったりと交流を続けることができます。

午後からは工学部を見学させていただきました。工場で作られているロボットアームや、NC工作機械などを学生が動かしている現場を見せていただき、疑問に思ったことはすぐ

に教授に質問することができたので、より詳しく学ぶことができました。私は専門が工業系で、ある程度のことは知っているつもりでしたが、午後からの内容はとても新鮮なものばかりでした。とはいえ、安全に関しては世界共通でした。機械などを扱う実習室では、安全靴を履くエリアとの境界を示すラインが引いてあったり、英語だけでなく日本語でも至る所に安全に関する注意が書かれていました。それが当たり前かもしれませんが、思いのほか感動しました。そして、最後にTNIの学生らとの記念撮影と交流会があり、同じ工業を学ぶ身として同年代の人たちとの交流はとてもいい刺激となり、帰国してからの学習もより一層頑張ろうと決意をあらたにできた充実した1日でした。

2 企業見学

5日目にTOYOTAバンポー工場を見学させていただきました。タイにTOYOTAの工場は3つあり、その中でもバンポー工場は2007年に開所されたタイで一番新しい工場です。製造車種はハイラックスのみで、年間約10万台生産しています。工場見学は現地タイ人の社員の方に説明していただきました。そこでの説明も全て英語で通訳の方もおらず戸惑いましたが、工場の中では目で見て得るものがたくさんありました。私自身、自動車の組み立て工場が初めてだったのですが、広大な工場では最初はエンジンだけだったものが、セクションを追うごとに車の形へとになっていき、最終的に走行実験が行われているのを見てとても感動しました。見学中、工場内で突然音楽が鳴り始めラインの電気が消えました。バンポー工場では、従業員の休憩の際、全てのラインを10分間止めて休憩を促すそうです。そして、一番大切な安全ですが、従業員の方を見ていると道を渡る際、みなさんが左右確認を指差して行いながら通行していました。入社してからの研修も充実しており6,7ヶ月みっちりトレーニングするそうで、そこから現場に出て一人で作業をこなすにはさらに経験が

必要とのことでした。徹底した社員教育に、タイの国民性が相まって世界の TOYOTA の安全性は守られているのだと実感しました。



TOYOTA バンポー工場

6 日目には DENSO の LASI プロジェクト施設を見学させていただきました。このプロジェクトは長年自動化の技術を磨いてきた DENSO とタイ工業省がタッグを組み、タイの工場の自動化を進めていくプロジェクトです。タイでは人件費がまだ安いという理由から、世界各国に比べ工場の自動化が遅れています。しかし、今後人件費も上がっていくと予想され、タイでも少しずつですが自動化の波が押し寄せています。そこで DENSO のノウハウを広めていく必要があるそうです。施設は自動化するまでの過程を LEGO で表現していて、とてもわかりやすかったです。施設を案内して下さった方は日本人の方で、中学を卒業した後 DENSO に入社し、社内の教育機関で工業のことについて学んでいたそうです。日本から遠く離れたタイの地で、産業の発展に協力しておられる姿は日本の誇りであって、これからも受け継いでいかなければならない先進国の使命だと感じました。

3 現地見学

今回、タイには 6 日間滞在しました。初日は、スワンナプーム国際空港に夕方に着き、バンコク市内へ入りました。市内は非常に交通量が多く、日本車の多さと、多くの高層ビルが立ち並んでいる光景に衝撃を受けました。それと同じくらいの衝撃を受

けたのがタイ料理です。香辛料がとても多く使われており、肉料理よりは毎食野菜と魚を使った料理を多くいただきました。食材も日本では聞いたこともないようなものもあり毎日が刺激的でした。



バンコク市内

滞在中は研修のかたわら、寺院や歴史的な観光地を見学してまわりました。3 日目に訪れたワット・ポーでは、ラーマ王への信仰を象徴している寝釈迦仏を見学し、現地の人々の強い信仰心を感じました。

6 日目にはアユタヤ市の日本人村を訪問しました。山田長政という、小学校の社会の授業で習う偉人が活躍した場所でもあり、現在に至るタイと日本の友好の基盤を築いた証をみることができとても良い経験でした。



アユタヤ

その中でも、私が一番考えさせられたのがアユタヤ王宮跡です。1351 年に建てられたアユタヤ王朝初の王宮でしたが、今残っているほとんどの仏像はビルマ(ミャンマー)軍によって破壊された跡でした。ビルマ軍も同じ仏教を信仰していたにも関わらず仏像を破壊し

ました。そうさせる戦争の非情さを知り、その生々しさが今でも残る王宮跡に戦争の残虐さを感じました。歴史公園内にあるワット・プラシーサンペットは、ビルマ軍に破壊されず今でも残っていて、そういった過去のあやまった行為を感じながら、それでいてとても美しく現代まで残っている姿にとっても感動しました。

今回はバンコク周辺を中心とした滞在となりましたが、バンコクは高層ビルが立ち並び高速道路や BTS、電車などがとても発達しています。ですが、車を1時間ほど走らせると一気に風景が変わります。塩田やココナッツ農園が広がり歴史的建造物も多く残る地域があり、研修を通してたくさんの魅力に溢れる国だと感じました。

4 感想

私が参加しようと思った理由は、海外研修を通して多くのことを吸収し、自分を成長させ、将来日本に少しでも貢献したいと思ったことからです。8 日間は、全国の初対面の高校生との活動でした。もちろん初めは友達ができるかなと不安でしたが、気さくな人ばかりですぐに馴染むことができ、一生の仲間ができたと思います。結団式では、生徒宣誓を行い、研修中はみんなをまとめる役を率先して行うことができ、とても貴重な体験をさせていただきました。この研修では私自身、リーダーシップとコミュニケーション能力について成長できたと思っています。この経験を最大限に活かして、これからも積極的に学ぶ姿勢をもちつづけ、将来の日本の発展に貢献できればと思います。

最後に今回、第 23 回高校生海外研修に参加するにあたり協力してくださったたくさんの方々へ感謝申し上げます。ありがとうございました。

《Memorial photo》



泰日工業大学交流後の記念写真



泰日工業大学交流後の記念写真



泰日工業大学交流ホームページで紹介

タイ海外研修報告書

大阪府立工芸高等学校
プロダクトデザイン科 2年

私は、公益社団法人全国工業高等学校長協会主催の高校生海外研修に大阪代表として参加させていただきました。日本から離れ1週間タイで貴重な経験をたくさん得ることができました。

まず2日目に訪れた泰日工業大学(TNI)では、主に工学部の施設や取り組みなどを見学させていただきました。電気自動車の制作やロボットの制作など同じ学生とは思えないようなクオリティのものが多くありました。その他に印象に残っているのは、情報学部での授業です。全員で円になり、起承転結を考えひとつのストーリーを作るというゲームを体験させていただきました。ひとりひとり個性のある想像力で展開を考えていく過程がとても面白く、お互いがたくさん笑いあえてとても仲間たちとの距離が縮まりました。

TNIでは日本語が必修科目になっているようで、日本語を話すことのできる学生の方がとても多く見受けられ、中でも日本とのハーフの方が多く、3か国語を駆使し私たちへの通訳をしていただいた学生の方がとても記憶に残っています。他にも、学生の方は英語を話すことのできる方がほとんどで、授業も英語で行われていました。この時に私は日本の英語教育の遅れを痛感し、私自身の英語力の低さを実感しました。



TNI の学生の方との集合写真

企業見学では、トヨタバンポー工場とDENSO LASI Training Centerを見学させていただきました。この報告書では、特に印象に残ったトヨタバンポー工場について書かせていただきます。バンポー工場は2007年に生産が開始され、主にハイラックスとフォーチュナーという車種を生産しています。25～30歳の方が多く働かれており、半年以上決められた研修を受けた人のみが生産ラインで働くことができるようになっており、ここに日本車の品質の良さが隠れているんだと気付きました。そしてバンポー工場ではトヨタミライという取り組みが進められており、塗装に水性インクが使われたり、樹脂製のパーツを一部使用したり、工場の敷地内では緑化が進んでおり環境への配慮が行われていました。月のお給料は日本円にして8万円と少なく感じますが、その分会社からの福利厚生が大きく、快適に働いている方が多いそうです。確かに生産ラインの方は楽しそうに仕事をされている印象が強かったです。生産ラインの見学は普段はできないそうでとても貴重な経験をさせていただきました。

現地見学では多くの観光スポットを訪れました。その中でも1番印象に残っているのがアユタヤ遺跡です。訪れた日が天候に恵まれ、その美しさがより際立って見えました。アユタヤ遺跡は18世紀ごろのビルマ(現在のベトナム)からの侵攻の際に多くの建造物や仏様が破壊されてしまい、本来では金色であったはずのアユタヤ遺跡ですが、塗装がはがれレンガがむき出しになっており、ほぼすべての仏様の顔が破壊されてありませんでした。ですが私は破壊されてしまったからこそその魅力や唯一無二の価値がアユタヤ遺跡にあると感じました。もう崩れてしまう仏塔がたくさんあるそうなので、その前にもう一度必ず訪れたいです。

今回タイに訪れ、心に残っていることが挨拶です。現地の方たちは必ずと言っていいほど挨拶は笑顔で言ってくれたり、返してくれたりしました。最近の日本ではそう多く見る



アユタヤ遺跡

ことのできない光景で驚きましたが、日を重ねるごとに、恥ずかしさもなくなり、笑顔で挨拶をするようになり、挨拶だけで心が温かくなりました。タイに来て初心に戻り、いかに挨拶が大事なかをもう一度考えることができたので、これからも頑張っ続けようと思います。

この研修でたくさんの経験をし、自分の人生において貴重すぎる経験をさせていただきました。思い出や学んだことはしっかりと今の自分や将来のために役立てていきます。お世話になりました先生方や添乗員の方、そして1週間ともに楽しんでくれたみんな、本当にありがとうございました。

《Memorial photo》



泰日工業大学内のコンビニ



泰日工業大学 セレモニー前



売店でタイパンツ探し



久しぶりの日本食(5日目)

タイ研修に参加して

兵庫県立姫路工業高等学校
工業化学科 3年

この夏、兵庫県代表として公益社団法人全国工業高等学校長協会が主催する第23回高校生海外研修に参加しました。

まず、タイの気候は雨季と乾季があり、私達が訪問した際は雨季で、初日はスクールに見舞われました。この夏も日本でよく起きているゲリラ豪雨のようなものと似ていると思い、日本の気候は熱帯に近付いていることなのかもしれないと危機感を感じました。首都バンコクでは日本より少し物価が安く、日本でもよく見かけるマクドナルドやセブンイレブンなどのチェーン店を多く見かけました。タイでは王様を尊敬しており、王様のために建てられた仏像や建物が観光地となっています。

衝撃的だったのがトイレで、紙が流せずゴミ箱に捨てる方式で、トイレの中に紙が無く持参しなければならないトイレも多くありました。水道水も飲めないため、日本の水道設備のありがたみを感じました。



現地の大学生との交流

研修では泰日大学を訪問し、現地の大学生と英語や日本語で交流しました。その際、笑顔でジェスチャーをしてコミュニケーションを取ることは難しかったですが、日本語で日本人の友人と会話するのは違った感覚でも面白かったです。

また、日本でも有名な企業であるトヨタとデンソーの見学もしました。やはり日本の車はタイでも人気で日産とトヨタのトラックのような型の自動車が人気で、道がボコボコな所が多いからだろうと思いました。



最高の仲間とピンクガネーシャ

タイでは人件費が安く、人をたくさん雇った方が、コストが低いです。しかし、近年は機械化を目指しており、国と連帯し、デンソーのLASI教育が発足したそうです。機械化できそうな工程をシミュレーションしながら探せる設備が整っていました。

私がこの研修で一番学んだことは、「一期一会」の大切さです。現地の人々、引率の先生方、他校の生徒達と過ごすタイ研修は、もう二度と訪れない機会だということを感じ、今いるクラスも同じだと感じました。すべての人々との出会いに感謝し、これから出会う人々との関わりを大切に過ごしていきます。

本当に学びある研修になりました。関係者の方々ありがとうございました。これからもこの海外研修がたくさんの生徒の学びになることを祈っています。



ミルキーウェイ君

海外研修に参加して

鳥取県立米子工業高等学校
建設科 2年

私は、公益社会法人全国工業高等学校長協会主催の高校生海外研修に鳥取県代表として参加しました。タイに行くのは初めてだったので、一週間生活してみて毎日が新鮮でした。

1 学校見学

私たちが見学した泰日工業大学は、4つの学部で構成されていてそれぞれに国際的な分野があることに魅力を感じました。

体験授業では、ビジネスについて学び、どうすればより良い結果へと改善できるのか、情報を元に分析することや人の心理に基づいて、広告などの制作をしていくことを学びました。英語での授業だったので理解するのに苦労はしましたが、もっと英語を勉強しようと思えたので、結果的に英語で授業ができて良かったです。また、映像についての授業では、物語を作る上で大切な4つの展開を意識することで物語の内容がより深く、面白くなることを学びました。展開を面白くするための要素は、建築物を設計する上でも活かそうだと感じました。

現地学生との交流では、「おりがみ」を通して会話をし、楽しい時間を過ごすことができました。学生のみなさんが、優しく接してくださったおかげで様々な学科の見学でもどのようなことをしているのかが分かり、泰日工業大学への興味が湧きました。



泰日工業大学での交流

2 企業見学

私たちは、TOYOTA バンポー工場と DENSO LASI Training Center の見学をしました。TOYOTA バンポー工場では、車の生産過程を見させていただきタイではどのような車を生産しているのかが分かりました。また、女性の社員さんは生産工場では働いていないと伺って、それほど大変で力のいる仕事だと、改めて分かりました。DENSO LASI Training Center では、機械によって作業の効率化を目指していくことを学びました。機械の操作をさせてもらったりして楽しく見学することができました。



TOYOTA バンポー工場での集合写真

3 現地見学

この一週間で印象に残っているのは、ワット・パクナムとアユタヤ遺跡です。

ワット・パクナムは、初めて世界一大きい像を見たのでずっと見とれていました。近くの建物の中のエメラルドグリーン色の像は、とてもきれいで星空を見ているかのようでした。私もこのように人々の心を魅了できるような建物をつくる建築士になろうと、改めて思うことができました。

アユタヤ遺跡は、戦争で建物が焼けてしまったにもかかわらず姿を残していて昔の人の建物を作る技術は、すごいと感じました。補修されているところもあったけど建物の角の部分は、高さ・長さに変化を加えてきれいにつくられていてどのようにして仕上げているのかが気になりました。当時とはどんな風景だったのか見てみたいと思いました。



アユタヤ遺跡での集合写真

4 感想

私のなかでこの一週間は、今までの中でも意味のある一週間になりました。生まれて育った場所も違う、同世代の仲間たちと研修・生活して、いい刺激になりました。また、グローバル化が進む中で実際に海外に行って海外のことを学ぶことは、想像していたよりも自分にとってメリットになることだと分かりました。私が海外研修に参加する前は、日本とタイの寺院の作りの違いを学ぼうと思っていたけど、一般の住宅にも日本との違いが大きいことを知って新たな発見がたくさんありました。タイの寺院や王宮は色がはっきりしているところが、日本の寺院や神社と違うとわかっていたけど、タイの一般住宅、特にマンションも色がはっきりしていて街そのものがアートのように感じました。また、高層ビルも日本とは違い奇抜なデザインのものが多く、とても魅力に感じました。このように日本の建物と違いが出るのは、その地域にあった建物だとわかったので、タイならではの魅力なのだと築くことができました。今回の研修では自分が想像していたよりも成長できたと思うし、学んだことをクラスの仲間や学校に還元していきたいと思います。

お世話になりました関係者の皆さん本当にありがとうございました。

《Memorial photo》



TOYOTA バンポー工場



川岸での昼食



象使い



ピンクガネーシャ

高校生海外研修に参加してみよう

～学んだこと～

広島県立広島工業高等学校
土木科 2年

1 学校見学

四日目に泰日工業大学(TNI)へ研修に行きました。まずセレモニーとしてTNIの学校長などから激励の言葉をいただきました。そしてTNIの授業に参加しましたが、やはり大学の授業ということで、高校生に向けたものではありませんでしたが、講義がすべて英語であり、話すスピードや発音もネイティブだったのでとても難しかったです。その後TNIの生徒と交流の機会があり、日本の空手やけん玉、折り紙などを通して親交を深めました。それが終わり経営学部で行っている、商品の製造から発送を通して顧客に届けるまでの一連の流れを学べる実習室を見学してもらい、見学後昼食をとりました。昼食では、TNIの生徒が横に入って、お互いの趣味や特技などをタイ料理を食べながら話しました。英語での交流となったのでカタコトにはなりましたが頑張って色々な人と交流ができるいい機会になりました。泰日工業大学の視察では、幅広い学部や学科があり、交流や見学を通して工業についての考え方を広げることができました。



泰日工業大学の実習風景

2 企業見学

五日目にTOYOTAバンポー工場、六日目に日系企業DENSO LASI Training Centerを見学しました。まずTOYOTAバンポー工場では、主に車の生産ラインを見学させていただきました。最初はエンジンだけだった物が、進んでいくたびに車の形になっていき、走行実験をしていくのを見て、あまり自動車にかかわらない身ですがとても感動しました。その後の質疑応答の時間ではTOYOTAバンポー工場の生産能力や工場での日当から月収まで、様々な質問に答えていただきました。そしてDENSO LASI Training Centerでは長年取り組んできた自動化の技術を持ったDENSOとタイ王国が手を組んでタイの工場の自動化を進めていくプロジェクトの一環を見せていただきました。



TOYOTAバンポー工場での集合写真

その中でタイ王国の工場の一例を見せていただきましたが、その動画では、タイ王国では人件費がまだまだ安いので自動化にお金をかけるよりも人を雇うほうが安く済むという考えがあり、今、DENSOとタイ王国では、少しずつ人件費が上がっていくその波に流されないように自動化を進めていると説明がありました。このDENSOの見学の中で説明してくれた人の「すべて変えることは難しいかもしれないが、少し変えることで便利になることや良い方向に変わることがある」という言葉を聞いて何か考えるときはこの言葉を大事にしていきたいと思いました。企業見学

を通して企業が日本の中だけでなく海外でも必要とされていることに日本人として誇りが持てました。

3 現地見学

今回、タイ王国には六日間滞在しました。初日の夕方にタイ王国のスワンナプーム国際空港に着き、バスでセンターポイントシーロムホテルに移動しました。その際、日本車の多さと日本でもあまり見ないような高層ビルの多さや、町中の屋台など、日本とは全く違う光景に衝撃を受けたとともに、異国の地に来たというワクワク感を感じました。タイ王国では色々なタイ料理を食べましたがどの料理も香辛料がたくさん使用されていたり、魚や肉、野菜や果物の種類まで日本とは全く違ったものを食べることができ、毎日の食事もとても充実したものになりました。トムヤムクンやタイカレーも想像していた味とは違いましたが、とても美味しくいただきました。タイ王国ではまずバンコク市内を観光しました。三日目の水上遊覧ではタイ王国の街並みを見ることができ、タイの街並みの中にある寺院や宮殿などを川から見ることができました。三日目は他にもワット・ポーで根積迦仏を見学し現地の歴史を感じることができました。五日目にはワット・サマーン・ラッタナーラームや100年市場など現地ならではの雰囲気を感じられる場所を見学することができました。六日目にはアユタヤの遺跡を見学し、ビルマ軍との争いの跡が今でも数多く感じられ、戦争の悲惨を感じるすることができました。

その遺跡では頭のない仏像が多くあり、同じ仏教を信仰しているビルマ軍が行ったことと知り、戦争をするということは自分が信仰しているものでさえも壊してしまうことになるのだと驚きました。七日目にはダムヌンサドゥアク水上市場を見学し買い物をすることができました。ボートに乗り川岸にあるお店からボートに乗ったまま買い物をするという体験をし、その時にお店の方が電卓を使ってこちらにもわかりやすく値段を伝えてくださ

り、現地の人の温かさや観光客を受け入れる姿勢を感じました。その夜にはバイヨークスカイタワーという304メートルの高さがある場所で食事をしました。タイでの最後の食事になりましたが、タイ料理からお刺身など色々な料理を楽しみました。

今回の研修で日本とは違ったタイの街並みや現地の人の人柄など色々なことについて知ることができる良い機会になりました。



アユタヤ

4 感想

今回の高校生海外研修に参加してみてタイ王国には、深い歴史や日本にもあまりない高層ビルと屋台が立ち並んだ街並みや、日本との関係の深さなど想像を超えたものが沢山ありました。この研修を通して仲間とともに過ごし、タイ王国という国で一つの研修を成功させることができ良かったです。この研修は見知らぬ土地に行くということで、とても勇気があることでしたが良い経験をする事ができる大切な機会になりました。

《Memorial photo》



ワット プラ マハタートガジュマル

タイの海外研修を終えて

香川県立高松工芸高等学校
工芸科3年

1 はじめに

私は将来、本校で学んだことを活かしつつ、国際的な視野で「日本のものづくり」に関わる人材になりたいと思っていました。今回、この研修の話先生から聞き、私の将来の夢を叶えるために、高校生海外研修を応募し、全国から集まった工業高校生とともにタイ王国へ行き、様々な経験と知識を高めると共に国際的な視野を広げ、地域社会や産業を牽引する力を身に付けられる様々な研修に参加しました。

その中で特に印象に残った研修内容について、報告いたします。

2. 学校見学

タイ3日目に泰日工業大学を訪問し、朝から現地の大学生との交流があり、授業参加や大学内の実習施設などを見学しました。



泰日工業大学訪問

まず初めに、授業に参加したのですが、すべて英語で会話し、聞き取れる単語を頼りに必死について行きました。学生との交流では、日本の高校生もみんな積極的に話しかけ、折り紙や歌などたくさんコミュニケーションを取ることができました。また、大学の施設は広く、それぞれの学部にも最適な施設や設備が

整っており、どの学生も楽しそうに学び、工業の様々な分野で活躍している学生たちが印象に残っています。さらに、泰日工業大学には日本語を上手に話す学生が多く、私も英語だけでなく第三言語を学ぶことの大切さを感じました。

3 企業見学

タイ4日目に日系企業である TOYOTA バンポー工場で見学しました。バンポー工場は、車の製造だけでなく環境問題にも力を入れ、敷地内には多種多様な生物が生息する人工林がありました。また、身近な場所で自然と触れ合えるよう配慮されているところに感動しました。

工場内では、トヨタで訓練し技術を身につけた従業員の方が車のボディが次々と流れているところで組み立てや点検などをしていました。ここで働いている方たちは車を通してお客様に幸せを提供できることを活力にしているとのことで、日本の企業が外国で優秀な技術者を育成していると思いました。



TOYOTA バンポー工場見学

5日目は、TOYOTA バンポー工場と同じく日系企業である DENSO LASI トレーニングセンターの視察に行きました。ここでは人の手に頼らないようすべてを自動化するための研修をしていました。また、自動化が進む一方で、人間の技術が必要となる作業を多くの企業の人にも指導していました。私も実際にロボットを操作させていただき、機械を扱う難しさ

を体験することができました。どの企業も無駄をなくし、効率の良い作業をするために高い技術をより磨き、常に工夫や改善を続ける素晴らしい企業で、同じ日本人として誇らしく思えました。

4 現地見学

現地を見学している間は、日本との文化の違いを常に感じていました。様々な建築物や周囲から聞こえてくる言語が違うのもそうですが、特に私はタイを歩いているときにする香りが記憶に残っています。飛行機を降りた瞬間はジャスミンの爽やかな香りがして、また街角を歩けば香辛料やドリアンの果物の香りがし、ホテルを出るたびに異国情緒を満喫することができました。

さらに、ガイドの方と共にタイの見どころをたくさん巡りました。バンコク市内外にある寺院の数々はどれも煌びやかでしたが、世界遺産のアユタヤ遺跡は今までの華やかな印象とは違って古都の歴史を感じさせるたたずまいでした。

また、チャオプラヤー川の水上游覧や水上マーケットの見学を通して川が生活インフラとして機能していることを知りました。最終日に登った 84 階のバイヨークスカイタワーの展望台では、今まで歩いてきた市街地を見下ろすことができ、高層ビルが建ち並び高速道路が蜘蛛の巣のように走っている大都市の光景にも感動しました。



アユタヤ遺跡見学

5 感想

微笑みの国タイではフレンドリーな現地の人とたくさんの素敵な出会いをしました。一週間しっかり学び、お腹いっぱいタイ料理を満喫し、刺激的な毎日を過ごしたことは絶対に忘れません。また、全国から集まった工業高校生と初めて東京の会館で会ったときは、とても緊張していましたが、タイに到着したときくらいから学年や性別に関係なく仲良くなりました。全国各地の話や方言を聞けて、みんなから学ぶこともたくさんありました。外国での生活で分からないことが多く、困っているときに助けてくれて、また仲良くしてくれた仲間には心から感謝しています。みんなと過ごすことが心地よくて、羽田空港で別れるときはとても寂しかったですが、21 人のみんなと先生方、添乗員、ガイドの方々が一週間共に研修ができて本当に良かったです。この研修での目標であった国内外の人とのコミュニケーションを取るということにもしっかりと挑戦しました。このように挑戦する気持ちをこれからも忘れずに国際的な視野をどんどんと広げていき、グローバルな考えを大切にして残りの高校生活や将来の夢に向かって進んでいきたいです。

最後になりましたが、研修に参加するにあたり指導していただいた学校の先生方、並びに素晴らしい研修の機会を与えてくださった全国工業高等学校長協会の方々に関係の先生方に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



マンゴーライス

第 23 回高校生海外研修（タイ） 報告書

福岡県立小倉工業高等学校
電子科 2 年

私は全国工業高等学校長協会主催の第 23 回高校生海外研修に参加しました。私はタイについて何も知らず、知識を得る機会も全くありませんでした。しかし今回の研修に行ってきたさんの事を経験し、学ぶことができました。それは新鮮で刺激的な 6 日間でした。

現地では、まず全く読めない初めて見る文字に苦戦しました。タイ語の文字です。どこを見てもタイ語ばかりで何も読めませんでした。タイの街は、交通量が多いです。朝の通勤時間や休日はすぐ渋滞し、10km の道のりが車で 30 分程度かかる時もありました。日本のメーカーの車やバイク、バスが多く走っていました。車はトヨタが一番売れているそうです。街を走っている車を見ても日本企業が活躍していることがわかりました。

また、タイは日本と同じ仏教国で、仏像や寺院が多くありました。研修では 6 個の寺院を観光し、それぞれの寺院に関する知識や歴史を学ぶことができました。どの寺院も様々な形の仏像があり花や草木がありました。それはタイの信仰の厚さや宗教の歴史の表れだと感じました。



ワットソートーン外観

また、研修ではトヨタのバンポー工場とデンソーの見学に行きました。私が印象に残っているのはデンソーです。そこには安川電機

の機械のようなアームロボットやレゴの車を自動で作る機械がありました。そこは教育施設で、主に自動化の設計の基本を学ぶ場です。最新の自動化技術、工場視点での改善、IoT の情報技術を同時に学ぶことができるように構成されていて、タイの人材基盤や産業基盤の強化に協力している事を知りました。日本の企業がこのような形で、タイという東南アジアの国で活躍している事を知り、日本の視点から見ただけではわからない事がたくさんあるなと感じました。この経験から大人達が学生や若い人に、海外に行った方がいいと強く言う意味をようやく理解しました。

この研修では泰日工業大学にも訪問しました。大学では、タイ語や日本語だけでなく英語も使われていてとても驚きました。大学でもグローバル化が進み、国際的な交流を行う為には何種類かの言語を話す能力が必要だと納得しました。また、大学の講義にも参加させてもらいました。そこでは全て英語で講義が進み、英語力が全くない私はほとんど理解ができませんでした。しかし、学生との交流の際は片言の英語と簡単な日本語でコミュニケーションをとることができ、とても貴重な経験になったと思います。

私はこの研修で初めて会う仲間と様々な体験をしたことで、このタイでの研修はかけがえのない生涯の財産になりました。お世話になった関係者の皆様、貴重な経験をありがとうございました。



班員との記念写真

海外研修を終えて

長崎県立大村工業高等学校
建築科 2年

1 学校見学

今回、泰日工業大学を訪問しました。日本語が必修科目のため、日本語を話せる方が多いことに驚きました。主に授業参加や学習施設等の見学、昼食をタイの学生の方と一緒に食べながら文化交流を行いました。私は以前、海外の方に英語で話しかけられた際、自分の伝えたいことが上手く伝えられず、悔しい思いをした経験があります。今回の研修では「後悔先に立たず」を意識して行動しました。また、母からも「初めから無理と決めつけずに、諦めないでコミュニケーションを取ろうとする姿勢が大事」とアドバイスを受けたので、自分の知っている単語を駆使して頑張って話しかけました。今回はタイの学生の方との会話で、自分の伝えたいことが相手に伝わり嬉しかったです。自分の成長を実感した一方で、自分の単語量の少なさを痛感しました。今後は、より英語力を磨いて円滑なコミュニケーションを図れるように幅広い表現力を増やし、発音をしっかりできるようになりたい、という新たな目標が生まれました。



タイの学生との集合写真

2 企業見学

今回、日系企業 TOYOTA バンポー工場と日系企業 DENSO LASI Training Center を見学しました。

DENSO LASI Training Center で私が印象的だったのが、作業の無駄を省くために作業分析をしてどこが必要なのか、必要ではないのか取捨選択することで、作業スピードが上がるという考え方でした。実習の授業において、私は製図を描く時間がかかりすぎている課題があり、この考え方を取り入れれば解消できると思いました。

3 現地見学

多くの観光名所を巡った中で印象深かったのが、ワット・アルンとアユタヤ遺跡のワット・マハ・タートでした。

ワット・アルンは、ラーマ三世の知恵により、表面にタイルが敷かれている寺院です。私は今回の研修の観光で一番楽しみにしていました。隅から隅まで隙間なくタイルの装飾が埋め込まれている仏塔を実際に登り、間近に見て息を呑む美しさに圧倒されました。

ワット・マハ・タートでは、ビルマ軍や一部のタイ人によって、切断された仏像の頭が菩提樹の根に包み込まれたり、頭部がない仏像が多く残っていたりしており、戦争の悲惨さを物語っていました。私がここで注目したのが、傾いた仏塔です。ピサの斜塔のように傾いており、崩れないのか心配になりましたが、実はタイは日本に比べて地震がほとんど起きないため、傾いたまま現存し今に至っていることが分かりました。建物を形成する際には、地域の自然環境を考慮することが重要であることを再確認しました。



傾いた仏塔

4 感想

私は家族旅行で海外に何度か行ったことがあり、今回の研修で4回目でした。しかし家族旅行の場合、両親に空港のチェックインから現地のホテルや観光地の行き方などほとんどをまかせきりでした。海外研修中は、生徒の主体性を求められ、初めての経験を数多く体験しました。ホテルでは途中アクシデントも起こりましたが、同じ部屋のメンバーと協力して英語やジェスチャーを用いながらこの危機を乗り越えられたのは良い経験でもあり、良い思い出です。

私はこの研修でタイの食文化に触れることも楽しみでした。本場のトムヤムクンを食べた時、想像以上の辛さや日本では味わったことのないレモングラスという酸っぱい香辛料を体験し、驚かされました。しかしそれには理由があり、辛さを緩和させるためにデザートは甘く、レモングラスは蚊を寄せ付けない効果があったのです。それぞれの味覚には意味があり、タイの食文化の奥深さや面白さを知りました。もし本場のトムヤムクンを食べる機会があれば、ぜひ食べてみてください。

食を通して分かったのは、風土や自然環境に影響を受けながら、その国独自の食文化が形作られているということです。普段は好き嫌いの無い私でも、初めてのタイ料理の中には受け入れにくい味もある反面、美味しい料理や食べ物も中にはあり、現地の人がどのような料理を食べているのか知ることができました。

私がこの研修に行った目的は①現地や他校の人との交流、海外での経験を通して広い視野を持つこと②タイ独自の住居や街並みを見てより一層建築の勉強に繋げること、でした。

①では本当に多くの人と交流することができました。初めは初対面の人に囲まれて不安が募るばかりでした。しかし、普段よりも積極的に話しかけてコミュニケーションが取れたことは成長の一つだと思います。同世代の様々な地域の人と交流して、多様な考え方、価値観に触れ刺激を貰いました。また、現地

の方や観光客の方に親切にして貰うことが度々あり嬉しく、私も社会に貢献できる人になりたいと思いました。

②ではタイの街並みを見て日本とは異なり、竹で作られた足場や、変わった形の瓦など建築物に自然と目がいきましました。日本との相違点を沢山発見できて面白かったです。建築を勉強すればするほど、普段見える景色も見方が変わってくるのが建築の魅力ではないかと思えます。将来、多くの建築の知識を身に着けた状態で他国を訪れたいです。



タイの屋根

海外研修を通して、今の生活が当たり前ではないことに気づき、日本の良さを身に染みて実感しました。これは海外に行かないと中々気づけないことだと思います。

最後になりましたが、今回の研修について、関係者の方々に感謝するとともに、今後の自分の人生に大いに生かしていきたいと思えます。本当にありがとうございました。



最終日に開催された誕生パーティ

高校生海外研修に参加して～タイ王国～

熊本県立玉名工業高等学校
土木科2年

1 はじめに

私は公益社団法人全国工業高等学校長協会主催の高校生海外研修に熊本県代表として参加しました。不慣れな空旅と初めての海外で初めはとても不安でしたが、異国の陽気な雰囲気心が躍り、時間があっという間に過ぎていきました。現地では、日本と比較しながら相違点を模索しましたが、目に飛び込んでくる景色すべてが新しい発見の連続でした。

例えば日本と比べて圧倒的にバイクの数が多いいです。道路では車の間に無数のバイクが混在していて、原付バイクに二人、三人乗りのバイクも見受けられ、世界一だと言われる渋滞の凄まじさを見ました。規則を守って通行する日本との習慣の違いを大きく感じた一面です。

また、タイ料理は9割が辛く、慣れるまで時間がかかりました。最終日に頂いたパイナップルジュースは、フレッシュで最高に美味しかったです。

2 学校見学

学校見学では「日本型ものづくり大学」を目指している泰日工業大学に行きました。学生は皆さんとてもフレンドリーで明るく歓迎してくださり、先端の機械が備わる充実した設備の中で学ばれていました。一緒にランチを食べたり、折り紙で鶴を折ったり、ダンスを披露して交流を深めました。

一番衝撃を受けたのが、学生が実際に制作に携わった映画の完成度の高さです。セリフはすべて日本語で、脚本の構成や高精度な技術は今後の未来を導くポテンシャルを感じて驚きました。主題歌に日本の楽曲が使われており、今では私の一番のお気に入りの曲になっています。

3 企業見学

企業見学ではトヨタとデンソーの工場に行きました。無駄のないシステムが組み込まれた機械やアーム型ロボットのパフォーマンスの高さには目を見張るものがあり、時代の最先端を間近で見られて貴重な経験となりました。工場の様子は日本からも確認出来るようになっており、グローバルな雰囲気を様々なところで感じる事ができました。

働いている社員の方の説明を聞きながら、普段は直接見ることができない工場の内部を見学して、進路を考える明確なビジョンに繋がりました。



トヨタ工場見学

4 現地見学

現地見学ではタイにある世界的にも有名で魅力的な観光地をたくさん訪れました。世界遺産の古都アユタヤ遺跡や黄金に輝くエメラルド寺院、現地の人と触れ合える水上マーケットなど、事前に調べていた事で見識が深まり、より楽しむ事ができました。水上マーケットでは地元の方々と会話しながら買い物をしました。

今回の研修で、私はタイの魅力を強く実感し、初めて海外に行く方にはタイをお勧めします。中でもエメラルド寺院は外せないと胸を張って伝えます。見渡す限りキラキラと黄金に輝いていて正に異次元の美しさでした。

日本と同様に、タイの寺院は格式を重んじ厳格な雰囲気に包まれており、歴史的背景を学んで訪れるとより一層楽しむ事ができると思います。



エメラルド寺院

5 感想

8日間の海外研修で、私は自立に向かう精神力や困難に柔軟に対応できる力を身に付けることができ、課題だったコミュニケーション力にも自信を付けることができた実感しています。

無事に研修を終えることが出来たのは、参加者全員の団結力が何よりも大きかったと思います。全国各地から集まった、かけがえない仲間との思い出は一生忘れません。今回の海外研修に参加し、この経験を今後の進路選択に生かすことができ、心の底から良かったと思います。

素晴らしい機会を提供していただいた全国工業高等学校協会の皆様、本当にありがとうございました。



スワンナプーム空港にて

《Memorial photo》



DENSO WAVE タイ工場



DENSO WAVE 工場見学



DENSO WAVE 記念撮影

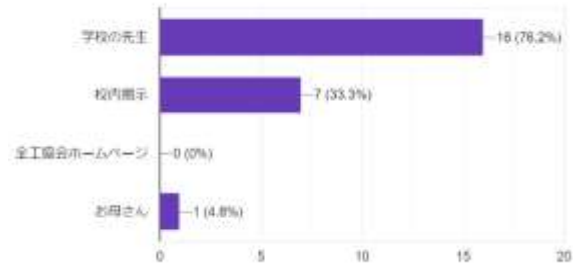


水上マーケット

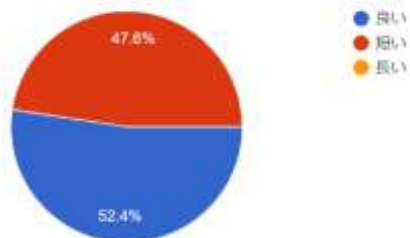
VII アンケート結果

(参加生徒 21 名分の事後アンケート)

質問 1 海外研修は、どこから知りましたか。

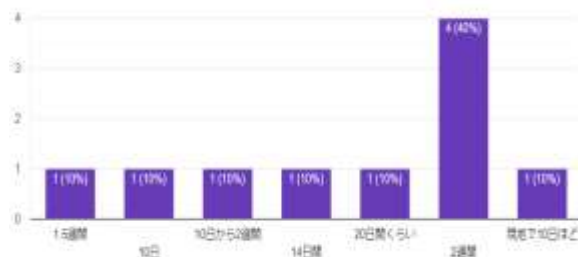


質問 2-1 期間はどうか。

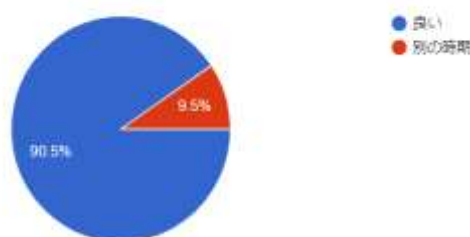


質問 2-2

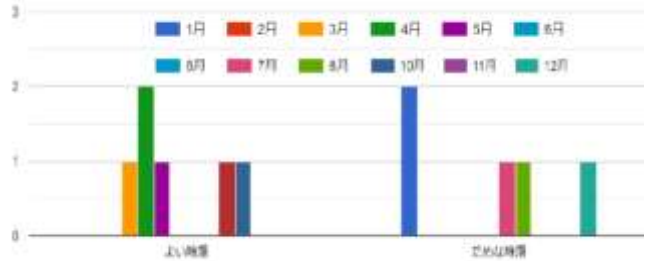
質問 2-1 で「短い」または「長い」を選択した場合、何日間くらいがよいですか。



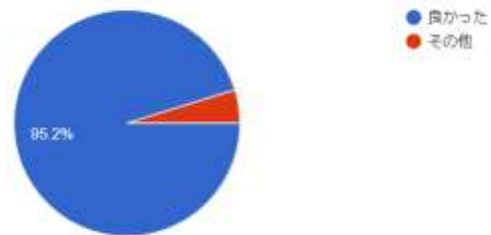
質問 3-1 時期はどうか。



質問 3-2 質問 3-1 で「別の時期」を選択した場合、何月頃がよいですか。また、何月頃はだめですか。



質問 4-1 バンコクの文化遺跡はよかったですか。



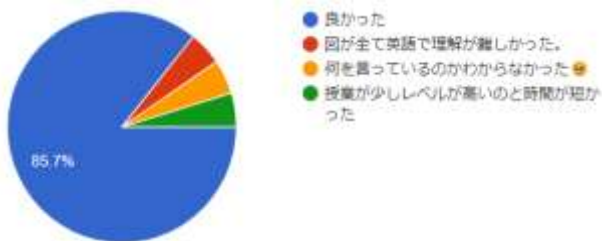
質問 4-2

質問 4-1 で「良かった」を選択した場合、その良かった内容を書いてください。

- タイの伝統的な建物を見ることができ、勉強になった。
- 1 番印象に残っているのはワットパクナムのエメラルド色の仏塔であり、とても美しく感動した。
- 事前知識なければ分からないという内容ではなく、見やすかった。
- どれも新鮮なものばかりだったから。
- アユタヤ遺跡群など特徴的な構造の遺跡でとても勉強になりました。
- 普段見ることができない遺跡を間近で見られた。
- 寺院によって作りが違って飽きなかった。
- バスガイドさんの説明をうけて観光できたこと。
- アユタヤ遺跡。
- 見たことない建物や仏像などを沢山見られたし、詳しくガイドさんが丁寧に教えてくれたから。

- 日本では見られない文化や景色が見られたから。
- 遺跡を見ることでタイの歴史について知れたこと。
- 日本の文化との違いがよくわかった。
- 日本とは違う建築方式で色々な発見ができて良かった。
- 日本とは違う歴史の背景や、日本との関係性も学ぶことができたのでよかった。
- 日本では見られない大きくて綺麗な仏像や建物を観る事ができた。
- 昔の人の建物を作る技術を間近でみる事ができたからまた、日本の神社や寺院と屋根の作りが違って面白かった。
- 古代のタイの状況や生活がわかったこと。
- アユタヤ遺跡
 - 壊されていないかった本来の姿が金色ですごく美しかったとの事だったのですが、当時のビルマとの戦争を経てその美しさがそこにあって、敷地もすごく広く、見応えがあった 特に大仏の顔がガジュマルに埋まっている所が凄かった。
- 日本では見る事ができない遺跡を見学でき、加えて海外を体験できた良い機会でした。

質問 5-1 泰日工業大学の授業参加 はよかったですか。



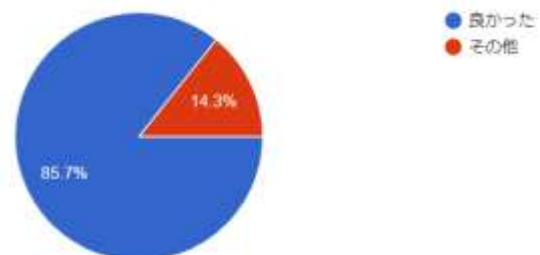
質問 5-2

質問 5-1 で「良かった」を選択した場合、その良かった内容を書いてください。

- 英語力を試すことができるいい機会になった。
- 英語だったので聞き取るのが難しかったけど勉強になった。
- 自分の英語力の低さを再確認できた。
- 英語でコミュニケーションを取り、伝わって会話することができたから。

- 普段交流することの無い人達との交流はとても楽しかった。
- 現地の学生と交流できたこと。
- ラボの見学。
- 授業の雰囲気は暖かったこと。
- 各学部についての説明が分かりやすかったからです。
- 大学生が優しく色々なことを教えてくれたこと。
- 他国の学校と交流することを寄ってコミュニケーション力が向上した。
- 英語でほとんど分からなかったけれど本場の英語を聞いたのは良かった。
- 国外の大学の授業を受けて、日本の大学の質がどのようなものなのか理解することができた。
- 折り紙を一緒に楽しめたお土産を渡すと喜んでくれてとても嬉しかった会話も沢山できた。
- この研修がなければこんな面白そうな大学があるとは知らなかったから授業参加では英語での授業だったので分からないこともあったけど、もっと英語を勉強しようと思えたし授業自体が楽しかったから。
- 日本語を使わない環境を体験できたこと。
- 映像科の授業で、みんなで円になってストーリーを考えていくゲームがすごく面白かった 自分はパッとストーリーを思いつくことは出来なかったけど、周りの皆が助けてくれたりして、すごく助かったし、仲良くなれた気がした。
- 普段英語での講義がないので、受けられてよかった。今後の生活で海外に行ったり論文を書いたりする際に役立つ。

質問 6-1 泰日工業大学の施設・設備見学はよかったですか。

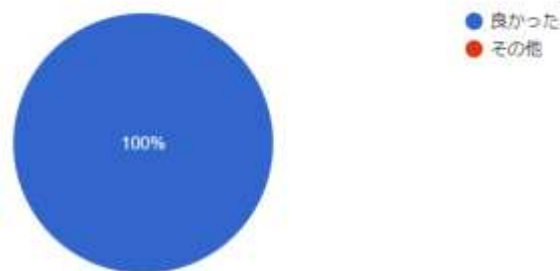


質問 6-2

質問 6-1 で「良かった」を選択した場合、その良かった内容を書いてください。

- 映画を製作する環境があることに驚いた。
- 物を運ぶロボットや輪投げができるロボットなど様々なロボットを見ることが出来楽しかった。
- 自分の学校と見比べながら海外の学校について触れる事ができた。
- 普通の学校には無い大きなロボットやタイ独自の文化をととても強く感じられた。
- ロボットには詳しくないけれど、興味が湧きました
- たくさんコミュニケーションがとれた。
- 大学の設備や機械を見て授業や研究の内容に日本と共通点があったこと。
- 生徒が自作したロボット。
- 情報工学部の授業を実際に体験できたから。
- 様々な機械や講義室があったから。
- 工業の機械について色々なものを見て知れたこと。
- 最先端の技術が多くそれを使いこなせる能力があった。
- 自分の学校と比べてこういうのがあったら色々良かったとか普段考えない事を考えられて良かった。
- 自動車設備を間近で見たことがなかったので、見られてよかった 特に、エンジンを直接見ることができ、そのリアリティが印象に残った。
- 自動車科では実際にカーレース用の車を作っていてすごかった また、商品を組み立てて包装し、棚に置くと言う珍しい実習室があって面白いと思った。自分の学校にはないので新鮮だった。また、より現実味のある実習をしているので、働いた時に大いに役立つと思った。
- 日本とタイの実習設備の違いを比較できたこと。
- 工業については日本でも沢山学べるが、グローバル化のことも視野に入れている大学だったので、日本の大学よりもより飛躍した勉強ができそうだった。
- 設備から普段の学習内容を伺うことができ、これから自分が学びたい事を改めて考えさせられた。良い経験になった。

質問 7-1 泰日工業大学の学生との交流はよかったですか。



質問 7-2

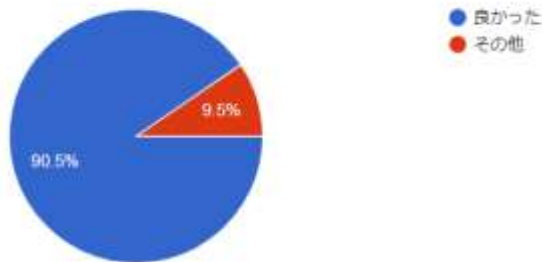
質問 7-1 で「良かった」を選択した場合、その良かった内容を書いてください。

- タイの学生はみんなフレンドリーで優しくかった。
- 学生の方々の前で出し物をしたり、折り紙の鶴の折り方を教え合ったりして交流を深めることが出来て楽しかった。
- コミュニケーションの難易度が適度で話しやすかった。
- どなたも親切で話していて楽しかったから。
- タイの文化についての話や学校についての話また、授業体験もすごくいい経験になった。
- 他国ではあるけれど同年代の人達とお話する機会があると質問などしやすく良かったと思います
- 英語が通じたのでたくさん話せた。
- 学生と共通の話題があり沢山会話できたこと。
- ダンスと歌。
- みんな優しくて英語や日本語が上手だったので楽しく交流できた。
- 質問をした時に優しく教えてくれたこと。
- 昼食時に一緒にお話できて、コミュニケーションが取れた。
- 昼食での交流会が楽しかったから。
- 学生が日本語もペラペラで、日本語で話すことも英語で話すこともとても楽しかった。
- 話す前は緊張していたけれど話してみると気さくで話しやすかった。色々な考え方があって自分の考え方の幅が広がった。
- タイの生活について、正直な意見が聞けた。
- タイの学生さんが通訳をしてくださって、見学内容

がよく分かった食堂にも案内してくれて楽しかった。

- お姉さんたちが優しく接してくださって安心した 日本語も喋れる方達が多くてここに入学しても良いなと思えるほど頼もしく感じた。他の学生さんたちとももっと交流したいと思った。
- 英語を使っのコミュニケーションを取れたこと。
- 国際科の方たちが日本とのハーフの方たちが多く、明るい方が多かったので沢山おしゃべりできた 日本語に通訳もして頂き、現地の方とのコミュニケーションもスムーズにとることが出来た。最後の方に皆で購買に行ったりして、連絡先も交換できてすごく楽しかった。
- 泰日工業大学の学生の方は日本語もお上手で、自分達が知っている英単語と日本語を組み合わせで話することができる珍しい機会、とてもためになった。

質問 8-1 TOYOTA バンポー工場の企業見学はよかったですか。



質問 8-2

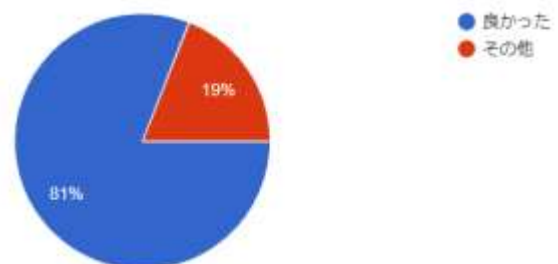
質問 8-1 で「良かった」を選択した場合、その良かった内容を書いてください。

- なかなか工場の中を見ることはできないのでとても貴重な体験だった。
- なかなか見ることが出来ない車を組み立てているところを見ることが出来て良かった 貴重な帽子やカバンを頂いて嬉しかった。
- 海外の工場を見学する機会を得られてよかった
- 組み立て工場を生で見られたから。
- 普段は絶対に入って見ることが出来ない場所での研修はとても面白く貴重な経験となり今後の自分の夢にも関わりもあるかもしれないのでとてもいいものとなった。
- 日本の工場が離れた国でも稼働していることが実

感できた。

- タイの自動車産業を生で見学できた。
- 日本のトヨタのシステムを取り入れていることを知れたこと、使われている機械が大学にあったこと。
- 車ができる過程の見学。
- 動画説明が分かりやすく面白かった。
- 実際に仕事場の工場を見学して、自動車工場の仕組みについて知れたから。
- 企業秘密の工場内を見学することが出来てとてもためになった。
- 自動車の製造工程や設備を間近で観察できたこと。
- 初めて見た海外工場で驚きの連続だった。
- 海外研修ならではの英語の解説で、海外にいるのだという実感が湧いた。
- 車の製造しているところを実際に見学できてとても貴重な時間だった。質問にも丁寧に答えてもらった。
- 車を作る工程を初めて見たので面白かった。様々な人の力があって、車作りはできていると知った。バンポー工場は、約 3000 人が働いていてそのうちの 700 人は生産工場で働いていると知った。
- 日本では絶対に見られないような光景を見ることが出来てすごくいい経験になった。トヨタの会社の心得など、お手本にするべき社訓が沢山あり、勉強になった皆が楽しく働けるような配慮が沢山ありそれが車の安定した生産につながっているのだと痛感した。
- 企業秘密である箇所も見学することができ、自動車生産の裏側が覗けた。自動車の構造だけでなく、生産しているロボットが動いているところを見学でき楽しかった。

質問 9-1 チャチュンサオ観光はよかったですか。

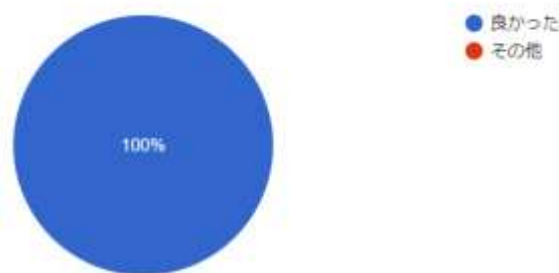


質問 9-2

質問 9-1 で「良かった」を選択した場合、その良かった内容を書いてください。

- 仏像の迫力がすごかった。
- ガネーシャ像が生で見ると迫力があって凄かった
100 年市場は平日だったので屋台は少なかったけど、100 年も経っているのに残っているのがすごいと思った。
- 分かりやすいタイの宗教文化に触れる事ができた。
- ピンクガネーシャはとて大きくタイの文化がとても感じられたまたコインが入ると願いが叶うというツボはとても楽しかった。
- ピンクガネーシャの迫力を感じられて良かった。
- ピンクガネーシャがすごかった。
- ピンクガネーシャの見学。
- 様々な寺院と歴史を学び文化を知れたこと。
- ピンクガネーシャを見られたこと。
- 仏教に対する気持ちの強さがとても大きくてとてもびっくりした。
- ピンクガネーシャをリアルで見られてよかった記念写真がたくさん撮れた。
- 日本では見られない大きくて綺麗な仏像や建物を観る事ができた。
- ピンクガネーシャがすごくきれいで驚いた。どの観光地よりも神様を感じられて良かったコインが入ると願いが叶うというのをしたら 3 枚コインが入ったので嬉しかった。
- ピンクのガネーシャや仏像、付近のマーケットの様子を見学できたこと。
- ピンクガネーシャが思っていたより大きくて、圧倒された。タイではみんな知っている自分の色に基づいて、下にいるネズミにお願いごとを言うということが面白くて、やってみた叶うかはさておき、行けたこと自体がすごく嬉しかったので、叶った暁にはまたお礼をしに行きたいと思った。周りの市場で欲しかったタイパンツも買えたので良かった。
- 初めての海外なので不安もあったが、ガイドの方や引率の先生方のおかげで心配していた事は起こることなく安全に観光できた。

質問 10-1 DENSO LASI Training Center の企業見学はよかったですか。



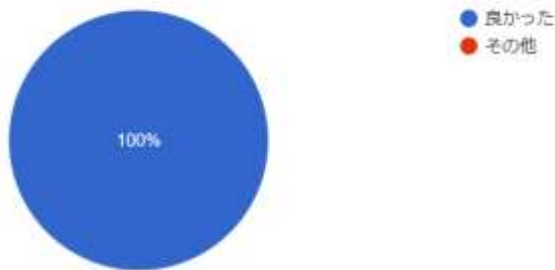
質問 10-2

質問 10-1 で「良かった」を選択した場合、その良かった内容を書いてください。

- DENSO について深く学ぶことができた。
- 初めて産業用人協働ロボットを見てみて無駄な動きがなく早いスピードで作業をしていて凄かった。
- 興味があるロボットという分野で、その他日系企業と比較しながら見る事ができた。
- これからのどの分野でも活用できそうな技術を知れた。
- 特徴的なロボットやロボットのコントロールパネルの工夫など見ていてとても面白くまた普段は無意識でやっていたことを考え自動化していくというのがとてもいい経験となった。
- ロボットでの効率化の大切さを理解できた。
- 自動化について学べた。
- 作業の効率化について知れたこと。
- 効率を上げる仕組みの説明。
- ロボットを動かすのが楽しかった。
- 機械化についてよく知れたこと。
- 動画の内容、ガイドの説明が分かりやすくロボットを動かすのが楽しかった。
- 手動での生産の説明と自動での生産の説明で DENSO についてよく分かったから。
- 自分の学校とも関わりがある企業だったのでとても勉強になった。
- 産業用ロボットを実際に触れられたことに感動した。
- ものコンに通じている部分があって意外だった。

- 機械が動いているのを近くで見学できた実際に操作も出来たのが良かったです。
- DENSO は電気系のことかと思っていたけど、車を組み立てるために効率良くするためにはどうすれば良いのかなど、難しそうで意外と単純なことを考えていて楽しかった。小さい車を作る機械を見てすごくきれいだった。
- 会社の方が日本人だったため、より深く会社の行っている LASI について聞いたのが良かった。実戦形式だったので、こうしたら効率化を図ることができるといプロセスをしっかりと学ぶことが出来た。
- DENSO LASI の取り組みを見学できたこと。また、ムダを減らすという点で日本の品質管理などの共通点を見つけれられたこと。
- 電子機械科の私にとって、DENSO でロボットアームを動かしたり、工場の自動化についてのお話を聞くことができ、メカトロニクスという分野がより好きになった。大学や今後の人生でもっと学び新たな製品をつくることのできる技術を身につけたい。

質問 11-1 アユタヤ遺跡観光はよかったですか。



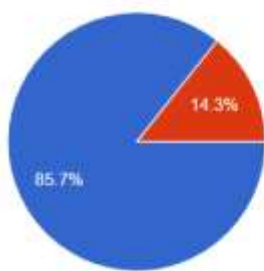
質問 11-2

質問 11-1 で「良かった」を選択した場合、その良かった内容を書いてください。

- 世界遺産の観光はとても貴重だった。
- どの遺跡もタイの深い歴史が詰まっていて、何千年も前の物が今も残っていて凄と思った。
- 今まで触れなかったタイの戦いの事も知る事ができた。
- アユタヤ遺跡のとても大きな仏像や歴史を感じさせる木の中にある仏像などとても見ていて面白か

- った。また遺跡の特徴的な構造や素材を見られてとてもいい経験となった。
- 石像が破壊されたままというのは見たことなくて歴史を感じました。
- たくさんの伝統的な遺跡を見て感動した。
- バスガイドの歴史的背景の説明を聞きながら観光できたこと。
- 700 年の歴史を感じ最高に綺麗だったから。
- 3 つの美しい仏塔を見られたこと。
- 崩れそうなレンガの塔や、壊された仏像を直接見ること歴史を感じられた。
- 遺跡や日本人町についてよくわかったから。
- 遺跡を見てタイの歴史について知れたこと。
- タイの人々と仏教との関係性がよく分かったのでよかった。
- 遺跡を全て見られた。
- 昔焼けた王宮など日本にないものがあって迫力があつた。
- 傾いている塔や戦争の残骸などから歴史を感じられた。また、建物の美しさに感動した。
- アユタヤの遺跡は今までと違ってキラキラはしていなかったけれど、よかった。
- 昔の人の建物を作る技術に驚いたし、戦争で焼けてしまっても残っているところは残っていたからすごいと思った。模型で当時の建物や街の状態を再現していて、これが残っていたらすごくきれいだったのだろうなと思った。
- タイの戦争の歴史や王朝の発展と衰退について学習できたこと。
- 1 週間でいった建造物の中で格が違うほど美しかった。共に当時の戦争の大きさも体感することができたので、歴史を学ぶきっかけにもなった。天気も晴天だったため、遺跡が映えてより美しかったのもすごく良かった。
- 有名なアユタヤ遺跡を見学し、タイの文化に触れた実感を得られた。戦争と深く関わりがある遺跡だということを知り、ロボットが戦争等に悪用される世の中にならないためにはどうすれば良いかと考えさせられた。

質問 12-1 バンコク（郊外・市内）観光はよかったですか。



質問 12-2

質問 12-1 で「良かった」を選択した場合、その良かった内容を書いてください。

- 日本と比較しながら景色を楽しむことができた。
- 日本の寺院とは違ってほとんどが円錐のような形で驚きました また見ていく中でタイの歴史を知れて良かった。
- 現地の人の生活に密着した視点で見学できた。
- 五感を刺激されてタイの文化に触れられたから。
- 水上マーケットなど気になっていたワットパクナムなどに行けてとても良かった。
- タイ料理を沢山体験できて良かった。
- どこも派手で飽きなかった。
- バイヨークスカイから絶景がみられたこと。
- 市内と郊外で建築の違いを知ることができた。
- 日本と全く違って面白く、セブンイレブンやマクドナルドがたくさんあるなど、日本と同じようなところもあって面白かった。
- 地元の人に根付いた市場などに行けたこと。
- バンコクの街並みについて知れたこと。
- 会う人全員が優しくて海外の楽しさを知れた
- 東京との違いを比較できた将来住みたいと思うぐらい良い都市だった。
- バンコク郊外はあまり発達していない感じだったけど日本でいうと昭和っぽい雰囲気ですごく素敵なおところだった。特に 100 年市場は駄菓子屋があったり、地元密着した市場で素敵だった バンコク市内は高い建物ばかりで、建設中のものが

多かった。日本と違って色々な形の建物で目が惹かれるものばかりだった。バンコクの中で 2 番目に高いビルの形は崩れかけそうなデザインでカッコよかった。

- タイの人の生活を体験でき、また現地の方々の温かみに触れることができたこと。
- 最終日に行ったバイヨークスカイタワーで見た夕焼けがすごく綺麗だったのが脳裏に焼き付いているほど印象的だった。近くにあべのハルカスはあるが、また違う感動がそこにあって、帰る日にあれほど綺麗な夕焼けが見られて感動した。
- これから海外でも活躍したい思いがあるので実際に歩いて回ることができたので良い経験になった。

質問 13 その他、訪問先で良かったところと内容を書いてください。

- 王宮の建物がタイ様式と西洋式が一体となっていて珍しいなと思った。
- 100 年市場で他の店で見た事ない物を買った。動物の健康状態を見る事ができた。
- ホテルの下にショッピングモールがあったのであらかじめお土産を買えて良かった。
- ホテルがとても良かった。ベランダからの景色も良くて部屋も綺麗で充実した 1 週間を送ることができた。
- ご飯がどれも美味しかった。
- 王宮、エメラルド寺院。
- ガイドさんがとてもわかりやすく教えてくれた。
- 水上市場で値切るという日本では出来ない商法で、社会勉強にもなった。
- 水上市場で船に乗りながら買い物できたこと。
- バイヨークスカイビルからの景色。
- バイヨークスカイビルからの景色がめっちゃ綺麗だった。
- 一緒に行ったみんなと考えながら行動することがとても楽しくて成長にも繋がった。
- ホンダが好きだったのでホンダの工場が見えたら最高だったと思うけど、トヨタの工場がみえたし、あまり触れられない寺院とかも見えて良かった。
- 訪問先で良かったところは泰日工業大学で、授業参加したことが楽しかった。英語でわからないと

ころが多かったけど、自分の力で理解しようと努力できたことが嬉しかった。午後の映像についての見学は日本の雰囲気イメージして作った映像も面白かったし、みんなで物語を作っていくゲームも面白かった。

- 水上マーケットで値切り交渉日本では体験できないシステムの買い物ができること。王宮跡が日本と全く異なる様式の建造物が見られてよかったこと。
- 水上マーケットで、日本では絶対見られない光景で小さい船に乗りながらお買い物が出来たのがすごく楽しかった。値切りもできて、半額で買ったものも買ってすごくいい経験になった。ここはまた必ず行きたいなと思った。
- 水上マーケットの船のエンジンの勢いが強く、爽快感が感じられた。
- 水上マーケットで値段交渉や船の上でのお買い物はとても面白かった。
- 空港の出入国審査やショッピングモールでの買い物も体験できたのがよかった。ガイドの方や先生方にたくさんの事を教えてもらった。

質問 14 意見や感想などを書いてください。

- 本当にいい研修だった。
- この研修を通して文化の違いを学ぶことが出来た。日本では当たり前な習慣がタイではそうでなかったり、同じ仏教国である日本よりも仏教への信仰心が強いなと思った。また色々な文化遺跡を見ながらガイドさんの話を聞いて歴史を深く知れて良かった。タイの人は親切な人が多いなと思った。1週間の中で多くの事を学ぶことができ、学んだことをたくさんの人に知らせたいと思った。
- 期間や時期もちょうどよく、過ごしやすかったです。観光場所や見学場所は日系企業で見学しやすく、タイの様々な方向性の文化に触れる事ができて、とても有意義な研修にできた。
- 今回は海外研修に参加させていただき本当にありがとうございました。毎日が新鮮なもののばかりで、教科書では知れなかったことを肌で感じる事ができた。この体験を活かして学校、進路に繋げ少しでも社会に貢献できるよう頑張ります。

- 今回はとても貴重な経験をさせて頂きありがとうございました。今回の経験を生かし今後の活動に活かして行きたいです。
- 今回のタイ研修で自分が学んでいる科目とは違うものまで学ぶことができたし、他県の仲間と先生方とも仲良くなる事ができてとても楽しかった。高校3年間で1番の思い出と学びになった。
- 本当に勉強になった。いい経験でした。
- 大変貴重な体験ができた。今回学んだこと経験できたこと沢山先生や友達に話したい。
- タイの綺麗なビルと仏教が融合した景色をじっくり観光できた。将来もう一回タイに来たい。
- ご飯が中々全部食べきれなかったので、ご飯の量を減らしてほしい。
- とにかく暑くて、移動は大変でしたが観光した場所はとても面白かった。ご飯も最初はタイ料理に馴染めなかったが、だんだん美味しくなった。ビュッフェ形式のところや川が見られるところも多く、今までに経験したことのない楽しさだった。誕生日のお祝いなどもしてもらい、楽しかった。コロナが収まりつつある中でこのように本当に楽しい経験が出来て良かった。第23回とのことですが、これからもこの研修が続き、たくさんの方が楽しく実りある海外研修になることを祈っています！本当にありがとうございました。
- 今回の海外研修で現地の人、さまざまな外国人、観光客と写真を撮ったり、交流できたので本当に楽しかった。タイへの移住を本気で考えるほど、楽しいひとときであった。
- この研修で視野が広がり友好関係も広がった。本当に参加できてよかった。
- 今回初めての海外研修で、どんな人たちと一緒に研修を受けるのか不安だったけど、みんないい人たちで、初日から最後まで楽しく過ごすことができた。このメンバーだったから過ごせた1週間だったので本当に感謝している。この企画をまた始めてくださった協会の皆さんにも感謝します。今回の研修で得た知識やバンコクの魅力をクラスの人や学校に還元していきたい。
- 不安なことも多くあったが、自分の力や可能性を広げることができる非常に有意義な時間であった。

□時間がないのは重々承知なのですが、今回の研修に来れたのは家族や先生の力があってこそで、その感謝を込めてお土産を沢山買ったかったが時間が少なく、満足がいくほどたくさん買えなかったこと、全日すごく天気良く、そこはすごく良かったが、つめつめのスケジュールで沢山歩き回り、慣れない気候で何度かしんどい時があった。もう少しゆったりとしたスケジュールの方がいいと思った。バスで寝たりなど一日の行動量と睡眠量のバランスが合っていないのかなと思った。日が経つにつれ皆疲れが顔に出ている。部屋の行き来は禁止だったため、他の部屋の子と喋ったりする時間がすごく少なかった。夜の寝るまでの時間、みんなでカードゲームなどしたかったので残念であった。

□今回の研修ではタイの文化だけでなく、日本とタイの職場や大学の違い、歴史のことについて色々なことが知れて、とても良い経験となった。

□とても楽しくて成長もできたのでこれからも続けて欲しい。

□アメリカかかに行けたら面白そう。

□全国から集まった初対面の人達との海外研修だったが、同じ工業高校生なのでとても話が合った！貴重でとても楽しい学び多い1週間であった。引率の先生方には大変お世話になりましたありがとうございます。1週間はあっという間で初めて会うみんなと仲良くする事とタイでの研修が同時進行だったので、全国から集まったみんなと海外研修前交流を zoom などで行った方がより良い研修になると思う。楽しかったです！

タイ語を使って海外研修を充実させよう！

せっかくタイ研修に行くからには、現地の言葉であるタイ語を覚えて、タイの人たちと触れ合いたい！
タイ研修を直前に控え、出発までにはほんの少しだけタイ語を習得しておきたい！

必須【女性言葉】

1. nīnāwīn サワディー・カア
こんにちは
2. mīnāwīn サバーイディー・カア
元気です
3. yōuqnam コーブ・クワン・カア
ありがとう
4. mīnāwīn マイベンライ・カア
どうしまして、いいですよ、問題ないです、気にしないで
5. hānāwīn ギン・カーオ・カア
ご飯食べる、食事する
6. hānāwīn バイ・ティアオ・カア
遊びに行く、観光に行く
7. wīnāwīn アロイー・カア
おいしい
8. tīnāwīn チャイ・カア
はい、そうです

※ちなみに、語尾に「カア」が付けるのは、女性言葉です。
※男性の読者の方は、「カア」の部分で、「カブ」に変更しておいてください。

【応用】

○ hānāwīn ロオン・マイ 暑いですか？ ※語尾に「マイ？」をつけると、疑問文になります。 ※答える時は、「マイ？」を外せば普通の文になります。	● hānāwīn ロオン・カア 暑いです
○ wīnāwīn アロイー・マイ おいしいですか？	● wīnāwīn アロイー・カア おいしいです
○ hānāwīn サスワ(ク)・マイ 楽しいですか？	● hānāwīn サスワ(ク)・カア 楽しいです
○ mīnāwīn サバーイディー・マイ 元気ですか？	● mīnāwīn サバーイディー・カア 元気です
○ yōuqnam コーブ・クワン・カア ありがとう	● mīnāwīn マイベンライ・カア どうしまして、問題ないです、気にしないで

【数】
タイ語の1から10は、
1 スン 2 ソーン 3 サーム 4 スイー 5 ハー
6 ホック 7 チェツ 8 ベーツ 9 ガーオ 10 スイブ

○ pī ou チー・アン 何人ですか。	● pī ou サーム・アン 3 人です
○ pī ou チー・コン なん入？	● pī ou サーム・コン 3 人です


○ wīnāwīn タオライ・カー
いくらですか？



ピンクのガネーシとは、悪い事が 3 倍速で付くとされている有名なヒンドウ教の神様です。

↑タイ語自主学习シート

全国工業高等学校長協会の紹介文 ➡



The National Association of
Technical High School Principals
Purpose of establishment and activities

Purpose
The purpose of this juridical person is to implement the research study of technical education in Japan and the mutual training for the members of the association and additionally to carry out the propagation and promotion of technical education useful for development of industry.

Activities

- 1 Investigation and study concerning technical education.
- 2 Investigation and study concerning teaching materials and tools for technical education.
- 3 Arrangement of study meeting, lecture meeting, training course, and so on concerning technical education.
- 4 Implementation of various test, such as approval test of computing skill approval test of drawing, approval test of information technology, etc.
- 5 Implementation of standard test for technical subjects (Mathematical Sciences In technology, mechanical course, electrical course, industrial chemistry course, architecture course, civil engineering course) and for mathematics.
- 6 Tour to study the situation of overseas education and to participate educational conference to make an international exchange.
- 7 Tribute to research societies of every subject.
- 8 Contact and cooperation with other related bodies such as government office or industry circle.
- 9 Management and utilization (for such as conference) of the Assembly Hall for Technical Education.
- 10 Publication of various literature.

Ⅷ 結びに

第23回海外研修は、参加生徒を募集したところ、9地区の推薦を得て21名（男子12名、女子9名）の生徒が参加することになりました。引率は、居石博幸団長（神奈川県立向の岡工業高等学校長）を含め3名で実施しました。参加者をはじめ、ご支援いただいた保護者・学校関係者の皆様に心より感謝を申し上げます。

本協会の海外研修は、第1～10回がオーストラリア方面で、第11～15回がカナダ・アメリカ方面で、第16～19回がベトナム方面で実施されました。その後、国際化推進事業委員会で研修先等を検討し、研修先をタイ王国に変更し実施しようと準備をしてきましたが、残念ながら第20～22回までは、東京オリンピック開催やコロナ禍の影響等を受け中止となり、実施することができませんでした。今年度、コロナも第5類となり第20回から検討してきたタイ王国方面へ4年ぶりに訪問することができました。

夏休みが始まると同時にこの研修がスタートしたこと、多くの参加生徒が初めての海外ということもあり、この海外研修の準備や心の準備に、時間的にも精神的にも負担が大きかったと思われます。にもかかわらず、参加した生徒の感想やアンケート結果を見ると、大学や企業等への訪問、特に、大学では現地の学生との交流、日系企業訪問ではタイの重要産業である自動車産業やそれを支えるロボットなどの施設・技術の見学が、また、バンコク市内やアユタヤの素晴らしい文化遺産見学ができ、とても充実した研修ができたようです。タイ王国は、日本企業が数多く進出おり、歴史的にも日本とのつながりは古く、親日的な国で治安も安定しています。近年は目覚ましい経済発展をしており、活気あふれるタイ王国の雰囲気を感じられたと思います。

世界中でテロや紛争が起こっており、国際社会の政治情勢が不安定な状況がある一方で、グローバル化が進み、激動の時代を迎えています。工業だけでなく、様々な分野において海外で活躍できる人材が求められています。このような状況から、今後の海外研修については、国際化事業推進委員会を中心に多くの皆様からご意見をいただきながら、さらに工夫改善を図り、より充実したものにしていきたいと考えています。

この海外研修は、参加した生徒の皆さんにとって、高校時代の多感な思春期における貴重な海外体験であったと思います。それぞれの高校生活及びこれからの人生に役立つことを期待し、参加された皆さんの今後の活躍を心から祈念いたします。

最後に、この研修を実施するにあたり、ご尽力をいただきました関係者の皆様に心から厚く感謝を申し上げます。

（なお、この報告書は、本協会のホームページにも掲載いたします）

国際化事業推進委員会委員

委員長 居石 博幸（神奈川県立向の岡工業高等学校長）
委員 山崎 正義（埼玉県立大宮工業高等学校長）
委員 三輪 政道（千葉県立清水高等学校長）
委員 久保 剛（東京都立科学技術高等学校長）
委員 森田 常次（東京都立多摩科学技術高等学校長）

全校協会事務局

渡邊 隆（事務局長）
湯澤 修一（事務次長）
江口 敏彦（事務次長）
引率
居石 博幸（向の岡工業高校長）
小原 豪（多摩工科高校）
水野 寧々（平塚工科高校）